magicolor® 5450
リファレンスガイド

4138-9562-03K

1800768-014D

登録商標および商標

KONICA MINOLTA 、KONICA MINOLTA ロゴおよび PageScope は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標および商標です。magicolor は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標および商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやド

キュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。

5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）
カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプライヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.0）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.0）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

OpenSSL Statement

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”

4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

   “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.
The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young’s, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

もくじ

1 Mac OS X での使い方

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	PowerPC G3 以上の CPU を搭載した Apple Macintosh（PowerPC G4 以上を推奨）
コンピュータとプリンタの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）
オペレーティングシステム	Mac OS X v10.2 以降（最新のパッチの適応を推奨） Mac OS X Server v10.2 以後
メモリ	OS が推奨する以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	256 MB 以上（イメージ展開用）

プリンタドライバのインストール

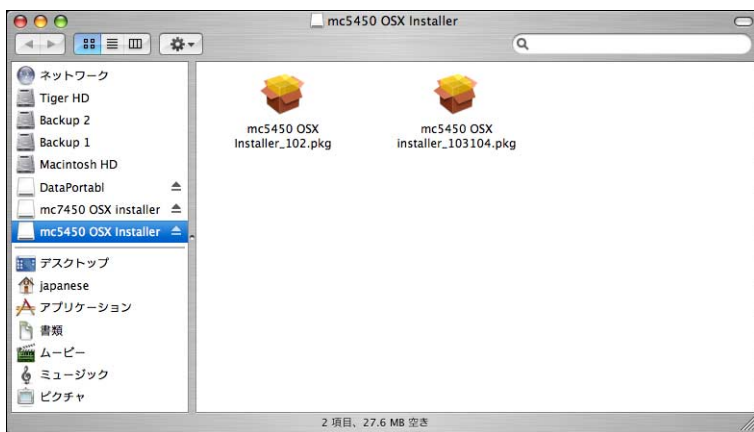
プリンタドライバのインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

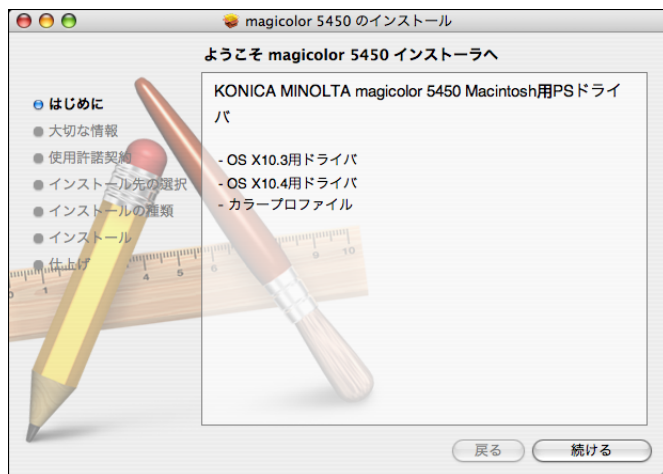
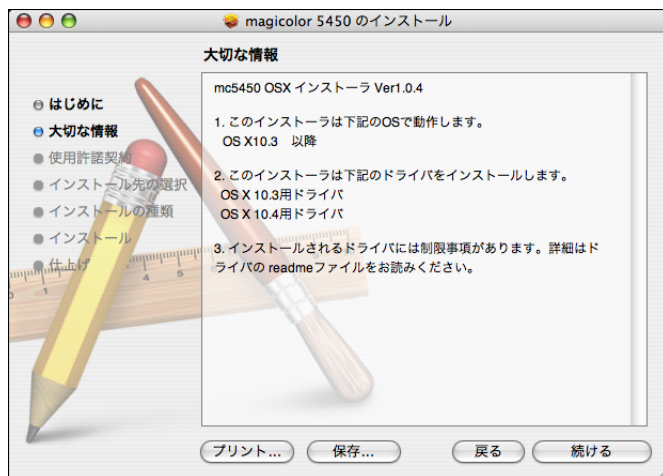
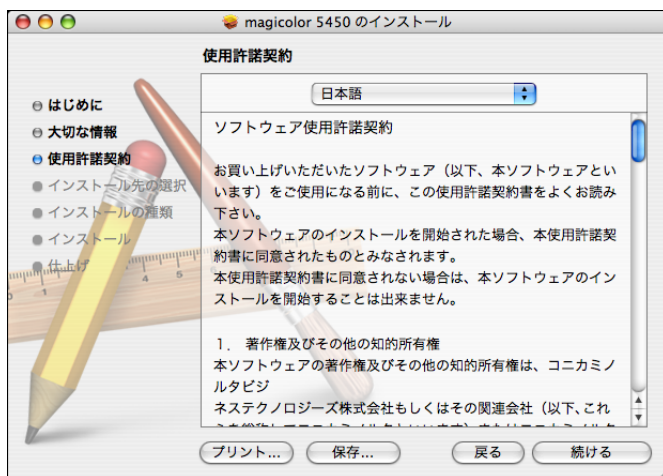
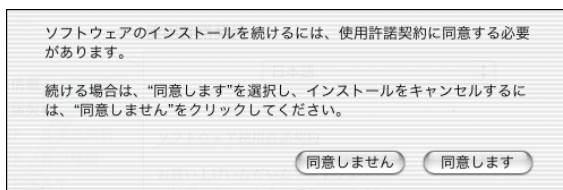
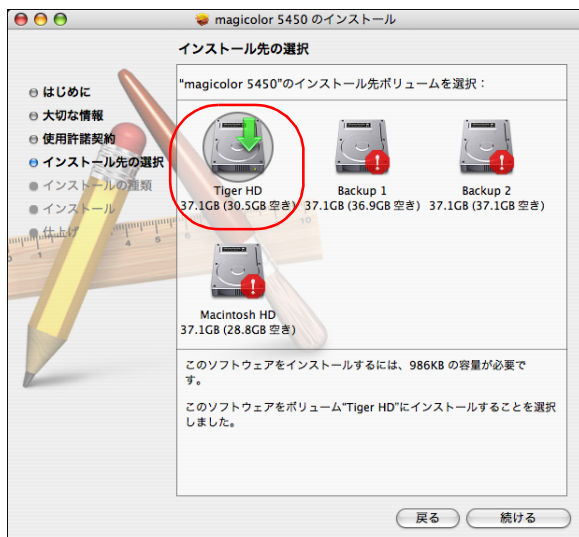
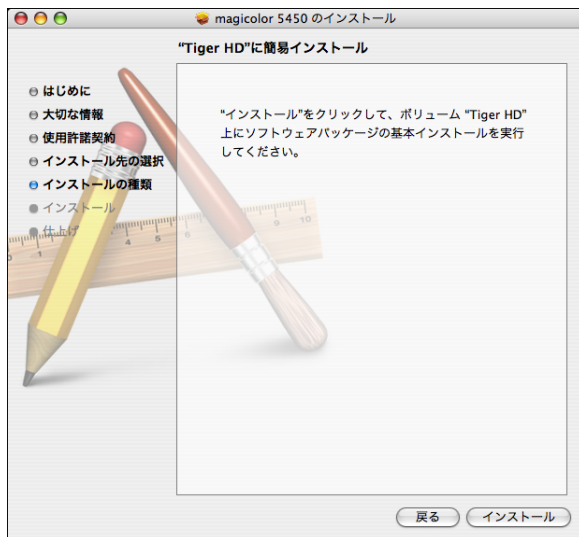
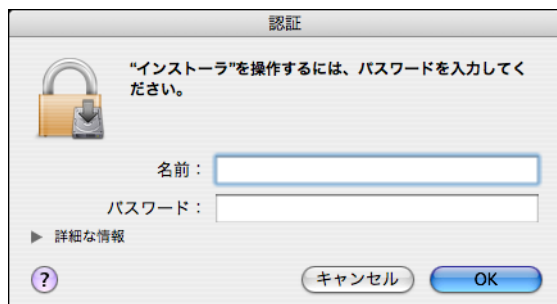
magicolor 5450 PS プリンタドライバのインストール

下記は、Mac OS X v10.4 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。実際の画面の指示にしたがって操作してください。

1 magicolor 5450 Software Utilities CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、パッケージファイル「mc5450 OSX Installer_103104.pkg」をダブルクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動します。

Mac OS X 10.2 をお使いの場合、「mc5450 OSX Installer_102.pkg」をダブルクリックしてください。

3 ［続ける］をクリックします。

4 大切な情報画面で、内容を確認し、［続ける］をクリックします。

5 使用許諾契約画面で、内容を確認し、[続ける] をクリックします。

6 確認画面で、[同意します] をクリックします。

7 インストール先を指定する画面で、インストールを行うディスクを選択し、［続ける］をクリックします。

8 ［インストール］をクリックします。

9 認証画面で、管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

インストールが始まります。

10 インストールが完了したら[閉じる]をクリックします。

これで、magicolor 5450 プリンタドライバのインストールが完了しました。

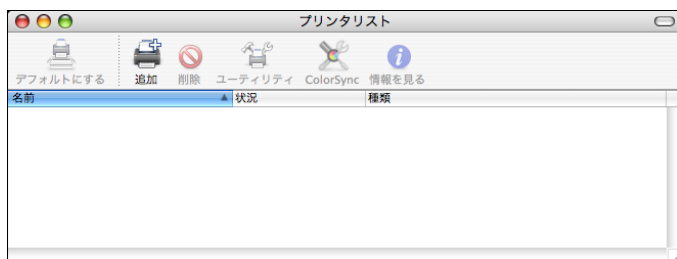
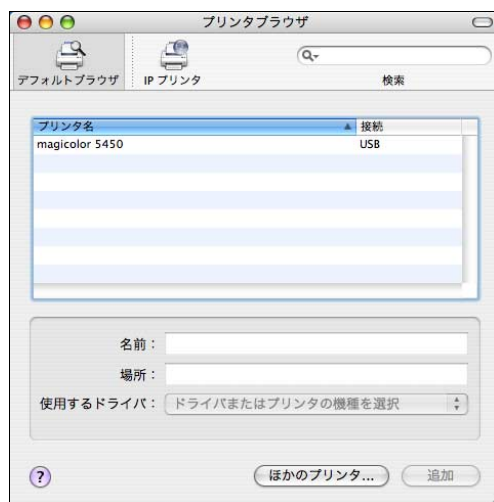
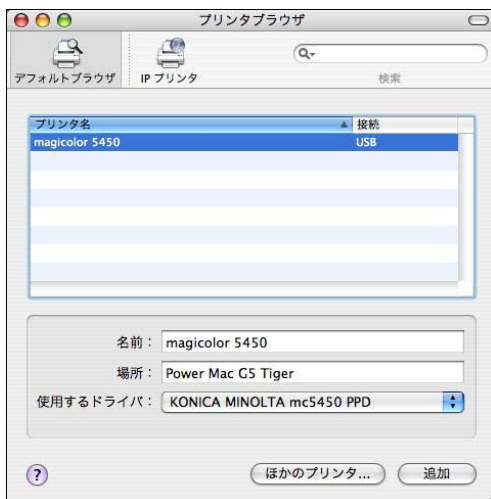
プリンタ設定ユーティリティ

USB 接続の場合

1 USB ケーブルで、プリンタとコンピュータを接続します。

2 プリンタの電源が ON であることを確認し、コンピュータを再起動します。

3 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

4 プリンタリスト画面で、[追加] をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

5 プリンタブラウザ画面の［プリンタ名］リストから、「magicolor 5450」を選択します。

「magicolor5450」が表示されないときは、プリンタの電源がオンになっていることと、USB ケーブルの接続を確認し、コンピュータを再起動してください。

6 「KONICA MINOLTA mc5450 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

7 ［追加］をクリックします。

プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。

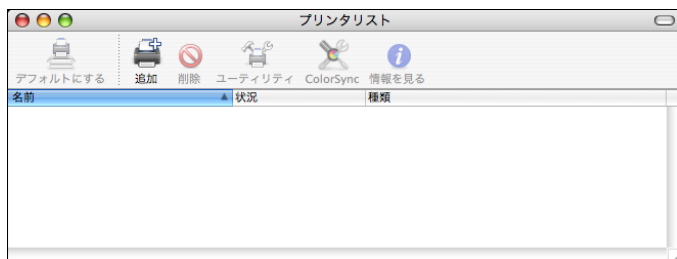
ネットワーク接続の場合

ネットワーク接続の設定方法には、Bonjour 設定と AppleTalk 設定、IP プリント設定（IPP 設定、ポート 9100 設定、LPD 設定）があります。

Bonjour 設定

1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

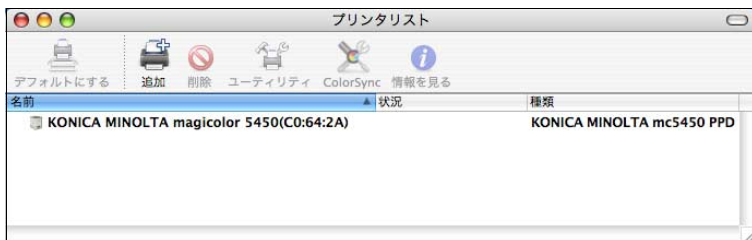
2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザの「プリンタ名」リストから、「KONICA MINOLTA magicolor 5450 (xx:xx:xx)」を選択します。

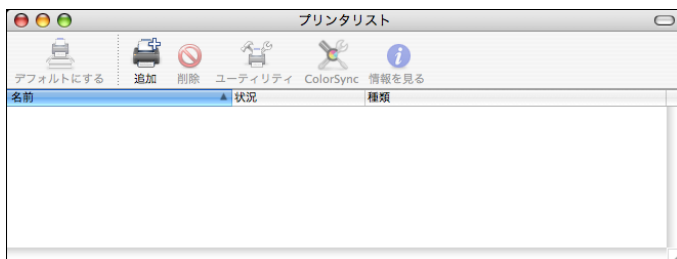
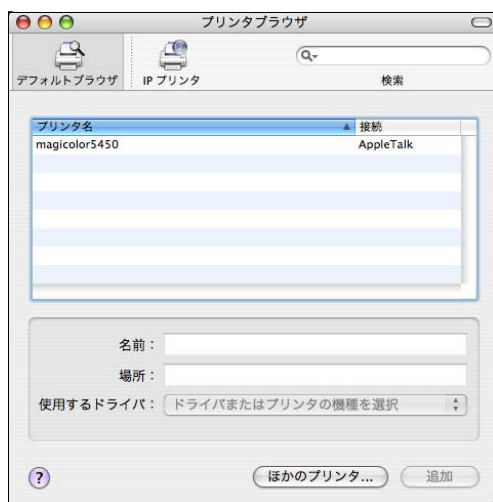
5 「KONICA MINOLTA mc5450 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

AppleTalk 設定

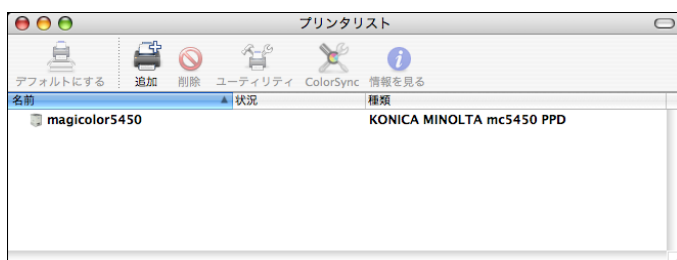
1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で、［追加］をクリックします。

プリンタブラウザ画面に、自動検出されたプリンタが表示されます。

4 プリンタブラウザの「プリンタ名」リストから、「magicolor5450」を選択します。

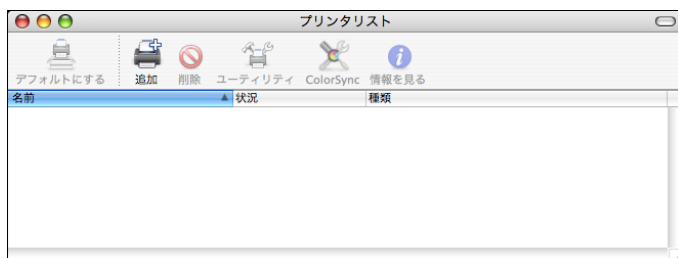
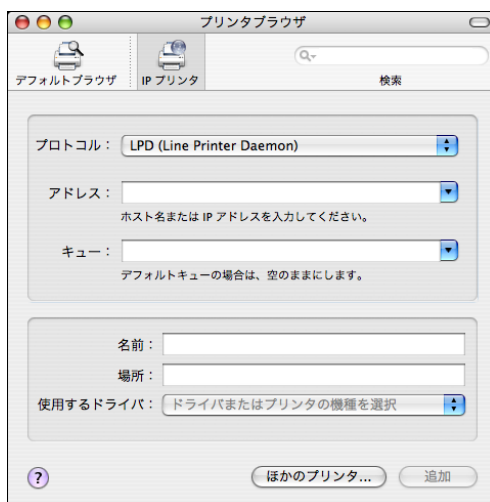
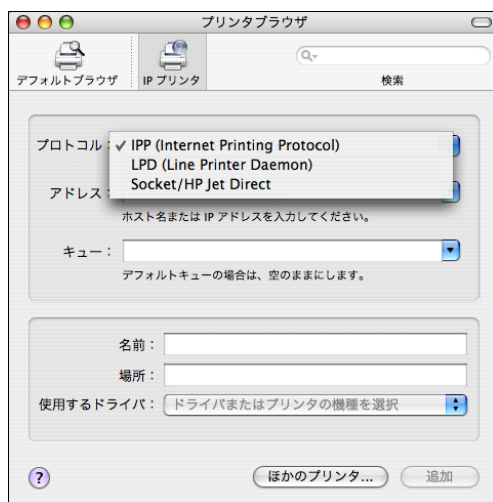
5 「KONICA MINOLTA mc5450 PPD」が、「使用するドライバ」ポップアップリストで選択されていることを確認します。

6 ［追加］をクリックします。

プリンタリスト画面に、新しいプリンタが表示されます。

IP プリント設定（IPP 設定 / ポート 9100 設定 /LPD 設定）

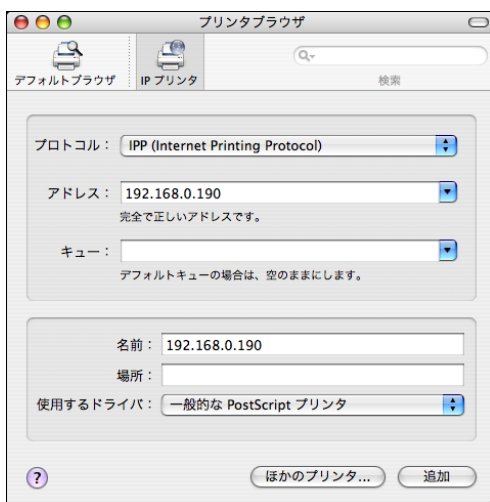
1 プリンタを Ethernet ネットワークに接続します。

2 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

3 プリンタリスト画面で［追加］をクリックします。

4 ［IP プリント］をクリックします。

5 「プロトコル」ポップアップメニューから、プロトコルを選択します。

IPP 設定の場合、「IPP（Internet Printing Protocol）」を選択します。

ポート 9100 設定の場合、「Socket/HP Jet Direct」を選択します。

LPD 設定の場合、「LPD（Line Printer Daemon）」を選択します。

6 「アドレス」ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。

LPD 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「lp」と入力します。

IPP 設定の場合、「キュー」テキストボックスに「ipp」と入力します。

7 必要に応じて、「名前」ボックスにプリンタの名前を入力します。

8 必要に応じて、「場所」ボックスにプリンタの設置場所を入力します。

9 「使用するドライバ」ポップアップメニューから「KONICA MINOLTA」を選択します。

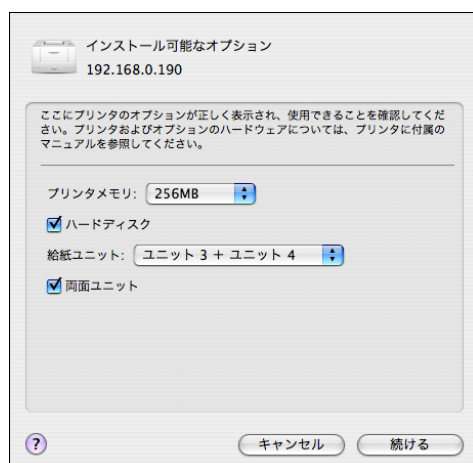
10 「機種」リストで「KONICA MINOLTA mc5450 PPD」を選択します。

11 お使いの環境に合わせて、プリンタメモリ、ハードディスク、給紙ユニット、両面ユニットを選択し、［続ける］をクリックします。

インストール可能なオプション
192.168.0.190

ここにプリンタのオプションが正しく表示され、使用できることを確認してください。プリンタおよびオプションのハードウェアについては、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

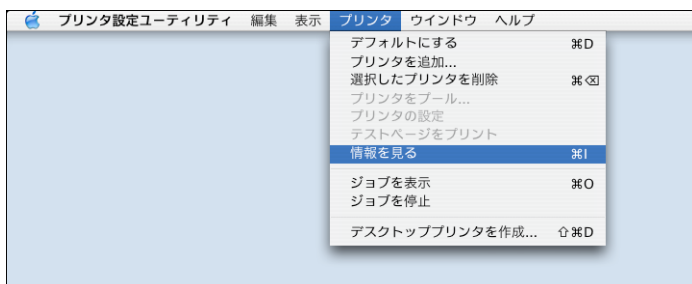
プリンタメモリ: 256MB
ハードディスク
給紙ユニット: ユニット 3 ＋ ユニット 4
両面ユニット

キャンセル　続ける

12 ［追加］をクリックします。

プリンタリストに新しいプリンタが表示されます。

オプションの設定

1 ハードディスクから「アプリケーション」→「ユーティリティ」にある「プリンタ設定ユーティリティ」を開きます。

2 プリンタリスト画面で本機を選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。

3 ポップアップメニューから「インストール可能なオプション」を選択します。

4 お使いの環境に合わせてプリンタメモリ、ハードディスク、給紙ユニット、両面ユニットを選択し、[変更を適用] をクリックします。

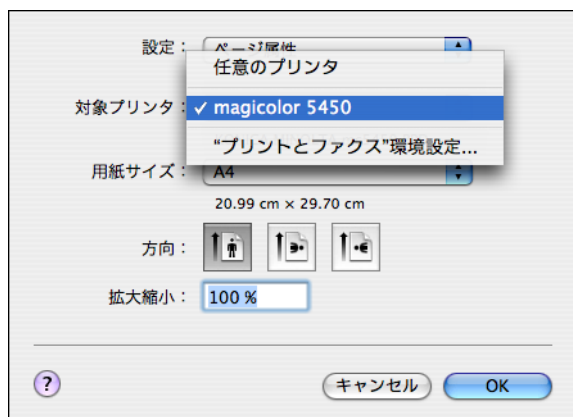
5 プリンタ情報画面を閉じます。

ページ設定画面の設定

アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択したときに表示されます。

1 「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択します。

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

ページ設定画面の「設定」ポップアップメニューで表示される各メニューでは、以下のような設定を行うことができます。

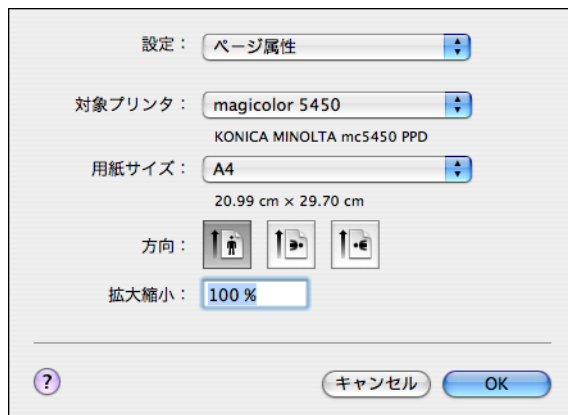
設定	設定内容
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行います。
カスタム用紙サイズ	カスタム用紙の用紙サイズを設定します。
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。
デフォルトとして保存	変更した設定を初期値として保存します。

ページ属性メニュー

ページ属性画面では、用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小の設定を行うことができます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

■ 拡大縮小

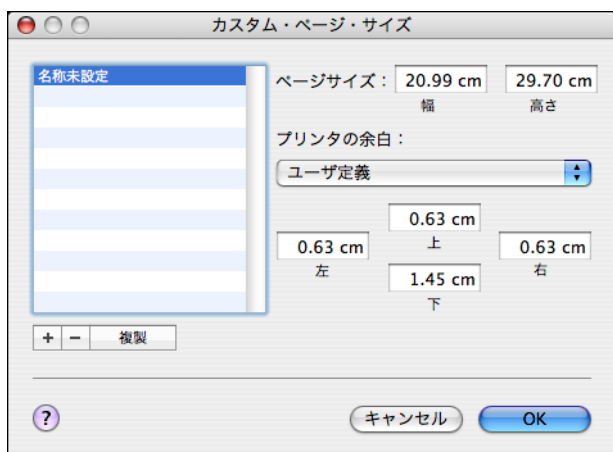
拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（1 ～ 400%）。

どの用紙サイズの場合も、用紙の端から内 4 mm までの範囲は印刷できません。

カスタム・ページ・サイズメニュー

ページ属性画面（前ページ）の「用紙サイズ」ポップアップメニューから「カスタムサイズを管理」を選択すると、カスタム・ページ・サイズ画面が表示されます。

カスタム・ページ・サイズ画面では、カスタム用紙サイズの設定を行うことができます。

■ ＋

新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ 複製

すでにあるカスタム用紙サイズを複製して新しくカスタム用紙サイズを作成するときにクリックします。

■ －

選択しているカスタム用紙サイズを削除するときにクリックします。

■ ページサイズ

縦と横のサイズを入力して、カスタム用紙サイズを設定します。

本プリンタで設定できる数値は、以下のとおりです。

長さ： 14.8 cm ～ 35.6 cm　　幅： 9.2 cm ～ 21.6 cm

■ プリンタの余白

ページの上下左右の余白（マージン）の値を設定します。

プリント画面の設定

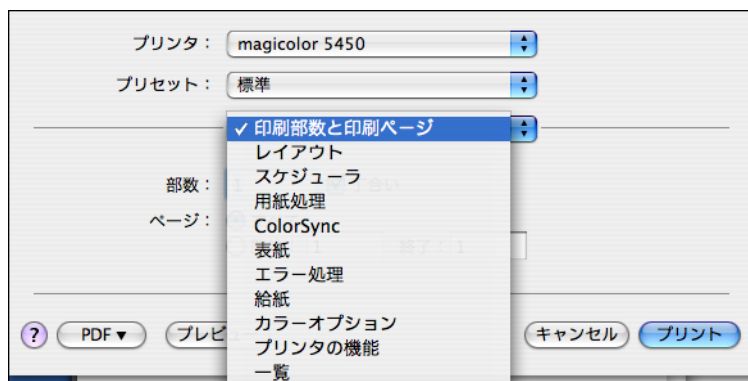
ここでは、アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されるプリント画面について説明します。

1 「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択します。

プリント画面が表示されます。

2 「プリンタ」ポップアップメニューから本機を選択します。

プリント画面のポップアップメニューでは、以下のような設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
印刷部数と印刷ページ	印刷するページや部数を設定します。
レイアウト	印刷時のページレイアウトや、両面印刷の設定をします。
スケジューラ	ジョブを印刷するタイミングや優先順位を設定します。
用紙処理	印刷するページの順番や、印刷するページを設定します。
ColorSync	ColorSync の設定をします。
表紙	表紙の設定を行います。
エラー処理	エラーの出力方法を指定します。
給紙	給紙方法を設定します。

メニュー	設定内容
カラーオプション	カラー印刷の設定を行います。
プリンタの機能	原稿サイズの用紙がトレイに無いときに、近いサイズの用紙を自動的に検出するかどうかの設定と、用紙の裏面に印刷する時の設定を行います。
一覧	現在の印刷設定を確認することができます。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

■ ?（ヘルプボタン）

プリント画面のヘルプを表示します。

■ プレビュー

印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。

■ PDF

PDF メニューを表示したいときに、このボタンをクリックします。ページ出力を PDF ファイルとして保存したり、PDF をファクス送信したりできます。

■ キャンセル

変更した設定を無効（キャンセル）にして、画面を閉じます。

■ プリント

変更した設定を有効にして、印刷を行います。

印刷部数と印刷ページメニュー

印刷部数と印刷ページ画面では、印刷するページや部数の設定を行います。

■ 部数

印刷部数を設定します。「丁合い」をチェックすると、丁合い機能が働き、文書全体が 1 部ずつまとまって印刷されます。

例えば部数を「5」にして「丁合い」をチェックすると、文書の最初のページから最後のページまでが 5 回印刷されます。

■ ページ

すべて：　全ページを印刷します。

開始、終了：　印刷するページを指定します。

レイアウトメニュー

レイアウト画面では、印刷時のページレイアウトや、両面印刷に関する設定を行います。

■ ページ数／枚

1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。例えば「2」を選択すると、1 枚の用紙に 2 ページ分が印刷されます。

■ レイアウト方向

1 枚の用紙に複数ページを印刷する場合に、ページをどのような方向、順番で印刷するかをクリックして選択します。

■ 枠線

1 枚の用紙に複数ページ印刷する際、各ページの周りに境界線を印刷する場合は、ポップアップメニューから境界線の種類を選択します。

■ 両面印刷

オプションの両面プリントユニットが装着されている場合、両面印刷に関する設定を行います。

切：	両面印刷を行いません。
長辺とじ：	長辺とじで両面印刷を行います。
短辺とじ：	短辺とじで両面印刷を行います。

両面印刷を行うときは、「オプションの設定」（p.18）で「両面ユニット」を選択しておいてください。
「両面ユニット」を選択していなくても「長辺とじ」または「短辺とじ」の項目をチェックできますが、その場合はプリントジョブがキャンセルされます。

スケジューラメニュー

スケジューラ画面では、ジョブを印刷するタイミングと優先順位の設定を行います。

■ 書類をプリント

今すぐプリント：すぐに印刷を開始します。

後でプリント： 印刷を開始する時刻を指定します。

保留： プリントジョブを保留します。

■ 優先順位

保留しているジョブを印刷する時の優先順位を設定します。

用紙処理メニュー

用紙処理画面では、印刷するページの順番や、印刷するページの設定を行います。

■ ページの順序

自動：文書のページ順序で印刷するときに選択します。

通常：通常のページ順序で印刷するときに選択します。

逆送り：印刷するページの順番を逆にして印刷するときに選択します。

■ プリント

すべてのページ：全てのページを印刷します。

奇数ページ：奇数ページのみ印刷します。

偶数ページ：偶数ページのみ印刷します。

■ 出力用紙サイズ

使用する出力用紙サイズ：ソフトウェアが作成した書類のサイズを使用するときに選択します。

用紙サイズに合わせる：書類の用紙サイズを、プリンタで使用されている用紙サイズに合わせるときに選択します。

プリンタで使用されている用紙サイズを指定します。

ColorSync

■ カラー変換

コンピュータでカラーマッチングを行うか、プリンタでカラーマッチングを行うかを選択します。

■ Quartz フィルタ

Quartz フィルタを選択します。

表紙

■ 表紙をプリント

書類の前か、書類の後に表紙を印刷できます。

■ 表紙のタイプ

表紙の種類を選択します。

■ 課金情報

表紙に印刷される課金情報を設定します。

エラー処理

■ PostScript エラー

PostScript エラーを出力するかどうかを選択します。

■ トレイの切り替え

このプリンタドライバでは使用しません。

給紙メニュー

給紙画面では、給紙方法の設定を行います。

■ 全体

すべてのページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 先頭ページのみ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に選択し、最初のページで使用する給紙トレイを選択します。

■ 残りのページ

最初のページと残りのページで別の給紙トレイを使用する場合に、最初のページ以外で使用する給紙トレイを選択します。

オプションの給紙ユニットを装着している場合は、「オプションの設定」（p.18）で「ユニット 3」または「ユニット 3 + ユニット 4」を選択しておいてください。オプションの設定画面で「ユニット 3」または「ユニット 3 + ユニット 4」が選択されていない場合は、給紙画面の「ユニット 3」、「ユニット 4」の項目はグレー表示になり選択できません。

カラーオプション

■ クイックカラー

クイックカラーを選択します。

■ 明度

明るさを選択します。

■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ グレースケール

この項目をチェックすると、カラー部分をグレイスケールで印刷します。

■ カラーセパレーション

この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。

■ カラー詳細設定

クリックすると、カラー詳細設定ページを表示します。

詳細カラーオプション / イメージ

■ RGB ソース

画像の RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

画像の RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB の画像データの黒色とグレイを再現する方法をを選択します。

■ スクリーン

画像の中間色の再現性を選択します。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

詳細カラーオプション / テキスト

■ RGB ソース

テキストの RGB ソースプロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

テキストの RGB カラー特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を選択します。

■ スクリーン

テキストの中間色の再現性を選択します。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

詳細カラーオプション / グラフィックス

■ グラフィックス

グラフィックの設定を選択します。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

詳細カラーオプション / シミュレーション

■ ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ

RGB カラープロファイルを選択します。

■ 下地色も印刷する

下地色を印刷するかどうかを選択します。

■ CMYK グレー再現

プリントジョブ内の中間色を印刷する方法を選択します。

■ 詳細設定を隠す

カラー詳細設定ページを隠し、カラーオプションページを表示します。

プリンタの機能

■ 近似サイズに拡大縮小

トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。

■ 印刷済み用紙の裏に印刷

用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。

一覧メニュー

一覧画面では、現在のプリント設定を確認することができます。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタの設定項目が英語表記になっている	– Mac OS X 10.3/10.4 の場合： 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のプルダウンメニューから「プリンタの機種」を選択します。プルダウンメニューから「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名から「KONICA MINOLTA mc5450 PPD」を選択後、「変更を適用」ボタンをクリックします。 – Mac OS X 10.2 の場合： 「プリントセンター」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のプルダウンメニューから「プリンタの機種」を選択します。プルダウンメニューから「KONICA MINOLTA」を選択し、機種名から「KONICA MINOLTA mc5450 PPD」を選択後、「変更を適用」ボタンをクリックします。
プリセットで保存した機能が反映されない。	プリンタの機能によっては、プリセットでは保存されません。
プリンタがハングアップする。	OS の不具合により、用紙サイズと用紙種類の組合せが禁止できません。正しくない組合せで印刷したとき、プリンタがハングアップします。用紙サイズと用紙種類は、正しい組合せで印刷してください。
プリンタドライバおよび PPD ファイルのバージョンを確認したい。	– Mac OS X 10.4 の場合 「プリンタ設定ユーティリティ」よりプリンタを選択し、「プリンタ」メニューから「情報を見る」を選択します。プリンタ情報画面のポップアップメニューから「名前と場所」を選択します。
他社製のプリンタから切り替えたとき、画面の表示がおかしい。	一旦プリント画面を閉じ、開き直してください。
カスタム用紙サイズが、設定した値と違う。	OS の不具合により、カスタム用紙サイズで設定した値が、微妙に変わってしまうことがあります。（例：14.70 cm → 14.69 cm）

症状	対応・処置
2-up 印刷時に用紙の中央に印刷されない。	OS の不具合により、以下のサイズで 2-up 印刷を行ったときは、用紙の中央に印刷されません。Legal, Letter Plus, Foolscap, Government Legal, Statement, Folio
N-up 印刷を複数部行ったとき、「丁合い」を指定していると、連続して印刷される。	N-up 印刷を複数部行うときは、「丁合い」を指定しないでください。
Acrobat Reader からの印刷時、「丁合い」が正しく機能しなかったり、印刷途中でジョブがキャンセルされたりする。	Acrobat Reader で印刷に不具合が出る場合は、OS に付属の「プレビュー」で印刷してください。
カスタム用紙サイズの名前として使えないものがある。	Mac OS X の制限により、以下の名前をカスタム用紙サイズの名前として使用することはできません。他の名前を使用して下さい。 –「Custom」 –「A4」や「B4」など、PDF ファイルで定義されている一般的な用紙サイズの名前

Mac OS 9 での使い方

プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

コンピュータ	PowerPC G3 以上の CPU を搭載した Apple Macintosh（PowerPC G4 以上を推奨）
コンピュータとプリンタの接続方法	USB 接続、 ネットワーク接続（10Base T/100Base TX/1000Base T）
OS	Mac OS 9.1 以降、 Mac OS X Classic モード（9.2.2 以降） Mac OS X の Classic モードを使用する場合は、Mac OS X 10.2.6 以降が必要です。
メモリ	OS が推奨する以上（128 MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量	256 MB 以上推奨（イメージ展開用）

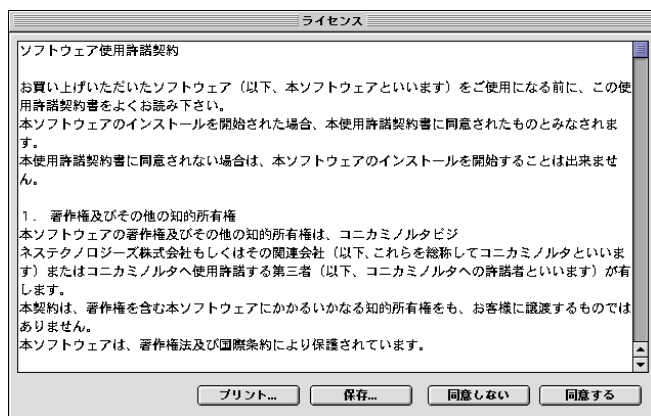
プリンタドライバのインストール

1 magicolor 5450 Software Utilities CD-ROM を CD-ROM/DVD ドライブに入れます。

2 デスクトップに表示される CD アイコンをダブルクリックし、magicolor 5450 プリンタドライバのインストーラをダブルクリックします。

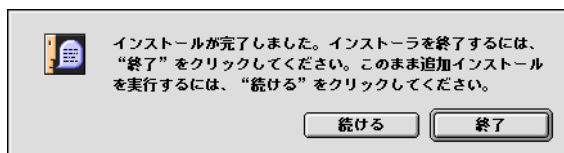
プリンタドライバのインストーラが起動します。

Mac OS X をお使いの場合、プリンタドライバをインストールする前に、Classic を起動してください。

3 ライセンス画面で、内容を確認し、[同意する] をクリックします。

4 [インストール] をクリックします。

インストーラがプリンタドライバと ColorSync プロファイルをインストールします。

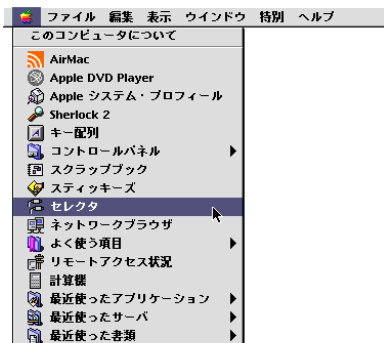
インストールが始まります。

5 インストールが完了したら［終了］をクリックします。

これで、magicolor 5450 プリンタドライバのインストールが完了しました。

セレクタでのプリンタの選択

AppleTalk を使用してプリンタに接続するには、セレクタを使用します。

1 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ケーブルでプリンタを Ethernet 100Base-TX ネットワークに接続します。

2 アップルメニューから「セレクタ」を選択します。

Mac OS X をお使いの場合、メニューバーにある Classic の状況を表示するアイコンから、アップルメニューを選択できます。

Classic の状況をメニューバーに表示するには、Classic 環境設定画面で、「Classic の状況をメニューバーに表示する」をチェックします。

3 セレクタ画面の左側で「LaserWriter 8」を選択します。

画面右側の「PostScript プリンタの選択」にプリンタ名が表示されます。

4 プリンタを選択します。

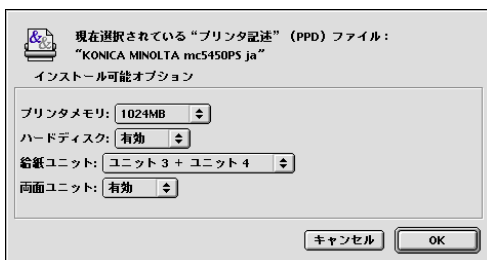
5 ［作成］をクリックします。

以下の画面が表示されます。

6 ［PPD 選択］をクリックします。

7 ［名前］リストから、「KONICA MINOLTA mc5450 ja」を選択して、［開く］をクリックします。

8 ［構成］をクリックします。

プリンタ設定ダイアログが表示されます。

9 インストールするオプションを選択して、［OK］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

magicolor 5450 アイコンがデスクトップに表示されます。

Classic モードの場合、デスクトップにアイコンは表示されません。

デスクトップ・プリンタ Utility からプリンタを選択する

USB ケーブルを使用してプリンタに接続するには、デスクトップ・プリンタ Utility を使用します。

1 プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

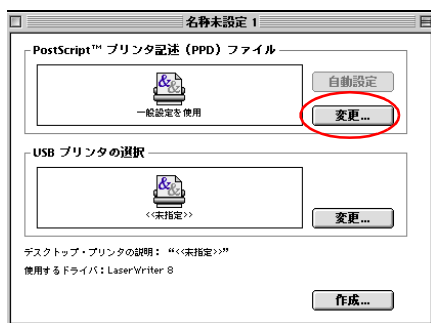
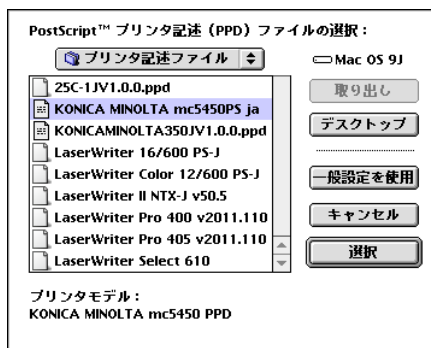
2 ハードディスクから、デスクトップ・プリンタ Utility を選択します。

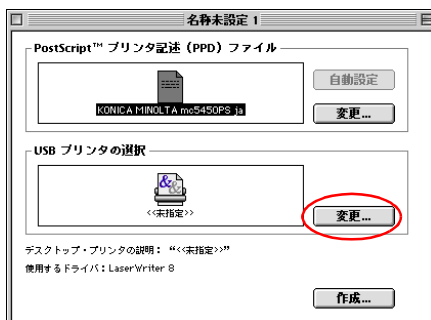
新規画面が表示されます。

3 ［プリンタ］ポップアップメニューから、「LaserWriter 8」を選択します。

4 ［デスクトップに作成］リストから、「プリンタ（USB）」を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［変更］をクリックして、PPD ファイルを選択します。

7 PPD ファイルの一覧から「KONICA MINOLTA mc5450PS ja」を選択します。

8 ［選択］をクリックします。

9 ［変更］をクリックして、USB プリンタを選択します。

10 ［USB プリンタの選択］リストから、「magicolor 5450」を選択します。

11 ［OK］をクリックします。

12 ［作成］をクリックします。

13 ［保存する］をクリックします。

14 必要に応じて、［デスクトップ・プリンタの保存名］でプリンタの名前を変更し、［保存］をクリックします。

デスクトップに magicolor 5450 アイコンが表示されます。

Classic モードの場合、デスクトップにアイコンは表示されません。

ページ設定ダイアログの設定

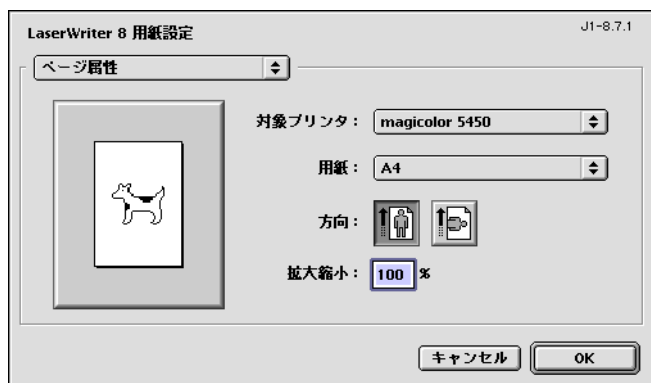
ページ設定ダイアログは、「ファイル」メニューから「用紙設定 ...」または「ページ設定 ...」を選択すると表示されます。

ページ属性メニュー

「ページ属性」メニュー画面では、用紙サイズ、拡大縮小、用紙の向きの設定を行うことができます。

■ 用紙サイズ

用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

■ 方向

印刷方向を選択します。

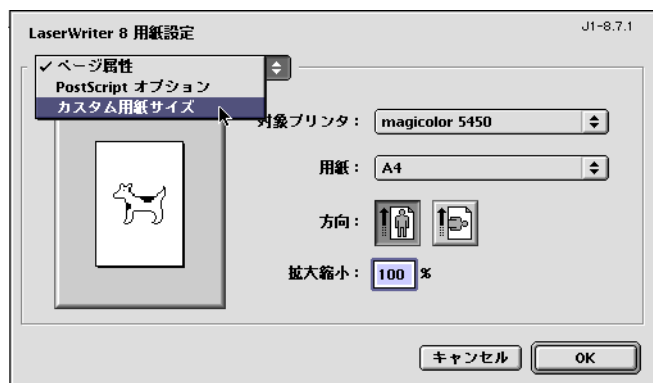
■ 拡大縮小（%）

拡大縮小して印刷する場合は、拡大縮小の比率を入力します（25% ～ 400%）。

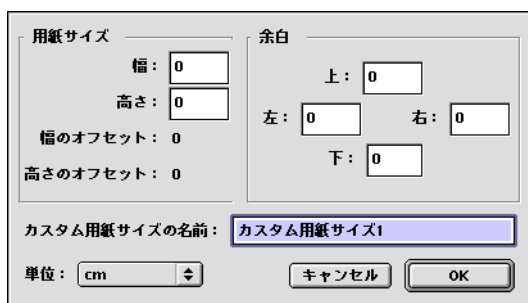
どの用紙サイズの場合も、用紙の端から 4 mm の部分には印刷できません。

カスタム用紙サイズの設定

ページ設定ダイアログのポップアップメニュー内にないカスタム用紙サイズを設定することができます。

1 ページ設定ダイアログのポップアップメニューから「カスタム用紙サイズ」を選択します。

用紙サイズ編集ダイアログが表示されます。

2「新規」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

3「カスタム用紙サイズの名前」ボックスにカスタム用紙サイズ名を、「幅」「高さ」ボックスに用紙の幅と高さを、「余白」ボックスに余白の値を入力し、[OK] をクリックします。

「幅」「高さ」ボックスで入力する値の単位は、センチメートル（cm）です。インチで値を設定するときは、「単位」ポップアップメニューから「インチ」を選択してください。

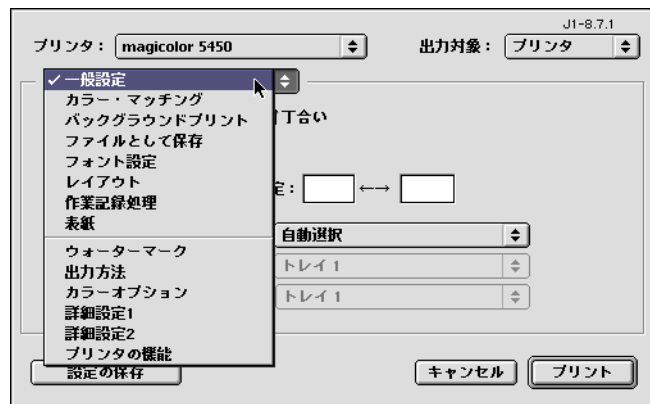
4 複数のカスタム用紙サイズを設定する場合は、「新規」をクリックし、手順 3 の操作を繰り返してください。

すでに設定されているカスタム用紙サイズを削除するときは、中央のリストからカスタム用紙サイズを選択し、[削除] をクリックしてください。

5 カスタム用紙サイズの設定が保存され、ページ設定ダイアログの「用紙サイズ」ポップアップメニューからその設定を選択できるようになります。

6 設定が終わったら [終了] をクリックします。

プリントダイアログの設定

アプリケーションソフトウェアで「ファイル」メニューから「プリント ...」または「印刷 ...」を選択したときに表示されます。

以下のメニューで各種設定を行うことができます。

プリント設定のメニュー

メニュー	設定内容
一般設定	部数、給紙トレイ、印刷するページの設定を行います。
カラーマッチング	カラーマッチングの設定を行います。
バックグラウンドプリント	印刷するときにデータをスプールする（バックグランド印刷）かスプールしない（フォアグラウンド印刷）かどうかの設定と、印刷時間の設定を行います。
ファイルとして保存	印刷イメージをファイルとして保存するかどうかの設定と、保存するデータの形式を設定します。
フォント設定	フォントの設定とフォントのダウンロードの設定を行います。
レイアウト	印刷する際のページレイアウトの設定や両面印刷の設定を行います。
作業記録処理	作業記録の設定を行います。
表紙	表紙の設定を行います。
ウォーターマーク	ウォーターマークの設定を行います。
出力方法	出力方法の設定を行います。
カラーオプション	カラー印刷の設定を行います。
詳細設定 1	カラー印刷の応用設定を行います。
詳細設定 2	シミュレーションプロファイルの設定を行います。
プリンタの機能	トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合に、自動的にページを縮小もしくは拡大するかどうかの設定と、用紙の裏面に印刷するときの設定を行います。

同時に設定できない機能などを指定しても、警告メッセージは表示されません。

共通のボタン

■ プレビュー

印刷を行う前に印刷イメージを確認したいときに、このボタンをクリックします。

■ キャンセル

変更した設定を無効（キャンセル）にして、ダイアログを閉じます。

■ OK

変更した設定を有効にして、印刷を行います。

■ 設定の保存

プリントダイアログで変更した設定を保存したいときに、このボタンをクリックします。変更は、次に設定が変更されるまで、初期設定として使用されます。

一般設定

■ 部数

印刷部数を設定します。

■ 丁合い

この項目をチェックすると、プリントジョブが丁合いされて出力されます（文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます）。チェックしない場合は、丁合いは行われません。

■ ページ

「全ページ」を選択すると、開いている文書の全ページが印刷されます。ページ範囲を指定して印刷する場合は、「ページ指定」の左側テキストボックスに印刷開始ページを入力し、右側ボックスに印刷終了ページを入力します。

■ 給紙元

このプリントジョブで使用する給紙トレイを選択します。複数の給紙トレイが装着されている場合は、文書の 1 枚目を別の給紙トレイから印刷するように設定することもできます。

カラーマッチング

■ カラー指定

お使いのコンピュータで使用可能なカラー設定から選択します。

■ マッチングスタイル

カラーマッチング設定を指定します。また、設定を自動的に選択することもできます。「カラー指定」で「ColorSync カラー・マッチング」を選択していない場合は、この項目はグレー表示になり、設定できません。

■ プリンタ用プロファイル

使用可能なプリンタ用プロファイルから設定を選択します。

バックグラウンドプリンティング

■ 処理方法

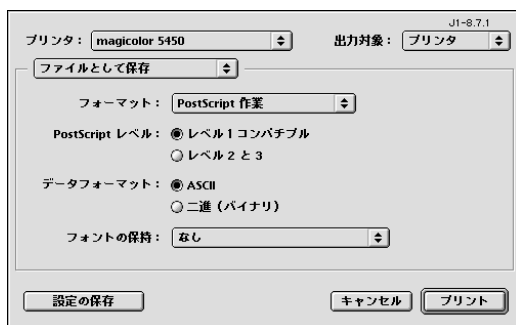
印刷方法を「フォアグラウンド」または「バックグラウンド」から選択します。

バックグラウンドで印刷すると、プリントジョブを処理する準備ができるまでコンピュータ上に一時的に保存される、スプールファイルが作成されます。そのため、プリントジョブの処理中も、お使いのアプリケーションで作業を続けることができます。

お使いのコンピュータ上に、スプールファイルの処理を行う空き容量が十分にない場合は、「フォアグラウンド」を選択してください。

■ プリント時刻

プリントジョブに優先度を指定します。また、プリントジョブを印刷する時刻を指定することもできます。

ファイルとして保存

■ フォーマット

出力ファイルのフォーマットを選択します。

■ PostScript レベル

PostScript レベルを選択します。

■ データフォーマット

プリントジョブをファイルとして保存する際のフォーマットを、「ASCII」または「二進（バイナリ）」から選択します。

■ フォントの保持

プリントジョブをファイルとして保存する際に、プリントジョブ内のフォントを保持する方法を選択します。

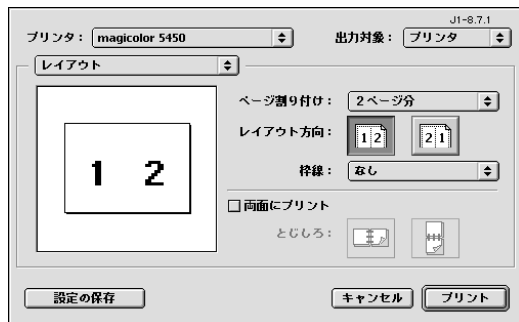
フォント設定

■ フォント情報

フォント・キーに注釈をつける：フォントキーに注釈を追加するよう設定します。

■ フォント・ダウンロード

– 優先フォーマット：優先的にダウンロードされるフォントのフォーマットを指定します。
– 必要なフォントを常にダウンロードする：この項目をチェックすると、必要なフォントが常にプリンタにダウンロードされるようになります。プリンタのフォントは使用されません。
– Type 42 フォーマットを作成しない：この項目をチェックすると、Type 42 フォーマットのフォントが生成されません。
– 省略時設定を使用：フォント・ダウンロードの設定を工場出荷時の値に戻します。

レイアウト

■ ページ割り付け

1 枚の用紙に印刷するページ数を設定します。

■ レイアウト方向

用紙上に複数のページを並べる場合、左から右の順番か、右から左の順番か方向を指定します。

■ 枠線

用紙内の各ページのまわりを枠で囲むかどうかを指定します。

■ 両面にプリント

プリントジョブを両面印刷するかどうか設定します。

オプションの両面プリントユニットが装着され、PPD でオプションが設定されている場合以外は、この項目はグレー表示になり、設定できません。詳しくは、「セレクタでのプリンタの選択」（p.45）を参照してください。

■ とじしろ

用紙内の各ページの綴じる方向を、短辺か長辺か指定します。

作業記録処理

■ PostScript エラーが起きた場合

PostScript エラーが起きたときにプリンタが自動的に行う処理を設定します。

■ 作業記録

作業記録フォルダとして設定されたフォルダに、作業内容のコピーを生成するように設定します。

また、ジョブが終了したあとに、フォントの情報などの作業ログを生成することもできます。

■ 作業記録フォルダ

作業記録フォルダの場所を指定します。選択されたフォルダには、作業内容のコピーや、作業内容の記録が保管されます。

［変更］をクリックすると、別のフォルダを参照して選択できます。

表紙

■ 表紙のプリント

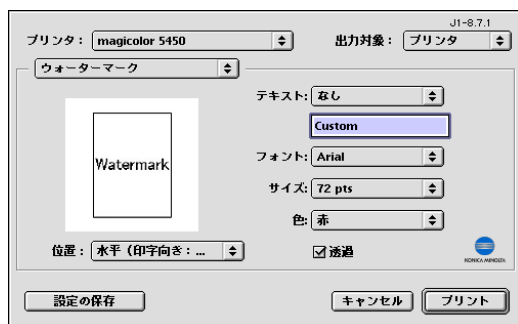
表紙を印刷するかどうかを指定します。また表紙を印刷する場合、表紙の位置を文書の前または後に指定できます。

■ 表紙の給紙元

表紙を印刷する用紙が入っている給紙トレイを選択します。

表紙ページには、ユーザ名、アプリケーション、文書名、日付、時刻、プリンタ名、ページ番号など、プリントジョブに関する情報が印刷されます。

「表紙のプリント」で「なし」が選択されている場合は、この項目はグレー表示になり、設定できません。

ウォーターマーク

■ テキスト

ウォーターマークとして使用する文字列を選択します。

■ フォント

ウォーターマークに使用するフォントを選択します。

■ サイズ

ウォーターマークに使用するフォントのサイズを選択します。

■ 色

ウォーターマークの色を選択します。

■ 透過

この項目をチェックすると、ウォーターマークを透過させることができます。

■ 位置

ウォーターマークの位置を選択します。

出力方法

■ 出力方法

プリントジョブのタイプを選択します。

– 通常印刷：通常の印刷を行います。

– 機密プリント：プリントジョブを印刷するには、操作パネルからの操作が必要になります。
操作パネルでセキュリティ ID が正しく入力されると、プリンタジョブが印刷されます。
すべての部数が印刷されると、プリントジョブは削除されます。

– ボックス保存：プリントジョブを印刷するには、操作パネルからの操作が必要になります。
操作パネルから必要な部数を指定して印刷を行います。後で追加の部数が必要になった場合も、操作パネルから部数を指定して印刷ができます。

ジョブを保管するときにセキュリティ ID を指定した場合には、プリントジョブを印刷するたびにセキュリティ ID の入力が必要です。
ジョブを削除する操作を行うまで、プリントジョブはプリンタに残ります。

– ボックス保存＆印刷：プリントジョブのすべてのページを印刷します。また、プリンタのハードディスクにプリンタジョブを保存しておき、後で追加の部数を印刷することができます。
ジョブを削除する操作を行うか、指定したタイムアウト時間が過ぎるまで、プリントジョブはプリンタに残ります。

– 確認プリント：1 部のみ印刷を行い、操作パネルから残りの部数を指定して印刷します。
すべての部数が印刷されると、プリントジョブは削除されます。

それぞれの印刷方法については、magicolor 5450 ユーザーズガイドをご覧ください。

■ ジョブ名

ジョブ名を指定します。

■ ユーザ名

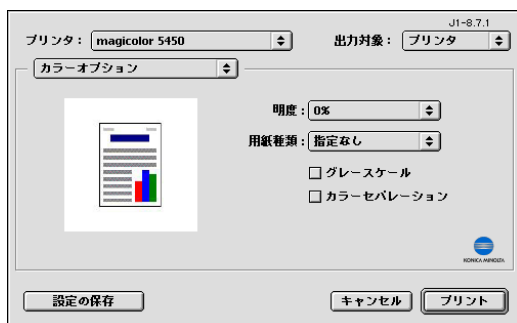
ユーザ名を指定します。

■ セキュリティ ID

ジョブに設定するセキュリティ ID を選択します。

この機能を使用するには、オプションのハードディスクがプリンタに装着されている必要があります。

また、ハードディスクを使用するには、セレクタから設定を行う必要があります。セレクタからハードディスクを選択する方法については、「セレクタでのプリンタの選択」（p.45）をごらんください。

カラーオプション

■ 明度

イメージの明るさを選択します。

■ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

■ グレースケール

この項目をチェックすると、カラー部分をグレイスケールで印刷します。

■ カラーセパレーション

この項目をチェックすると、色分解を行って印刷します。

詳細設定 1

■ RGB ソース

画像とテキストの RGB カラープロファイルを選択します。

■ RGB 色変換

画像とテキストの RGB 特性を選択します。

■ RGB グレー再現

RGB の画像データとテキストデータの、黒色とグレイを再現する方法を選択します。

■ スクリーン

画像とテキストの中間色の再現方法を選択します。

■ グラフィックス

グラフィックスの設定を選択します。

詳細設定 2

■ シミュレーションプロファイル

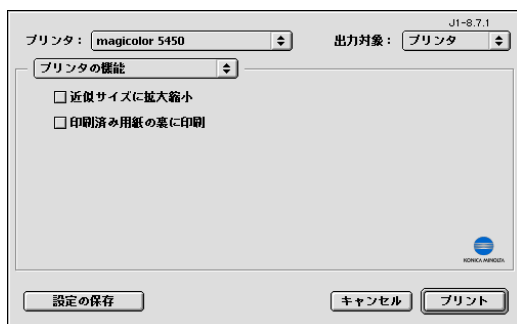
RGB カラープロファイルを選択します。

■ 下地色も印刷する

この項目をチェックすると、下地色も印刷します。

■ シュミレーショングレー再現

黒色とグレイの再現方法を選択します。

プリンタの機能

■ 近似サイズに拡大縮小

トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。

■ 印刷済み用紙の裏に印刷

用紙の裏面に印刷するときは、この項目を設定します。

プリントジョブの確認

デスクトップにある magicolor 5450 アイコンをダブルクリックすると、プリントジョブを確認することができます。

Classic モードの場合、プリントモニタが自動的に起動し、アイコンが Dock 内に表示されます。プリントモニタのアイコンをクリックすると、プリントジョブの状況を確認できます。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
カスタム用紙で両面印刷すると、エラーが発生する。	カスタム用紙では、両面印刷できません。また、ページ種類（メディアタイプ）にも制限がありますので設定に注意してください。製品に付属のユーザーズガイド（電子マニュアル）を参照してください。
Web ブラウザから印刷すると、フレームごとに別のページにプリントされる。	Web ブラウザの仕様により、フレームごとに別ページに印刷されることがあります。別の Web ブラウザで印刷を試してください。 プリントダイアログのプレビュー機能を使って確認することができます。
両面印刷が選択できない。	USB でプリンタと接続している場合、セレクタで装着しているオプションを選択してください。セレクタでオプションを選択する方法については、「セレクタでのプリンタの選択」（p.45）をごらんください。また、ページ種類（メディアタイプ）にも制限がありますので設定に注意してください。製品に付属のユーザーズガイド（電子マニュアル）を参照してください。
トレイ 3 が選択できない。	
エラーを解除したが、またエラーダイアログが表示された。	まれに、エラーを解除したにもかかわらず、エラーダイアログが数回表示されることがあります。

3 Linux での使い方

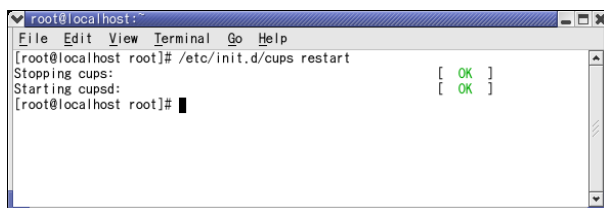
プリンタドライバの動作環境

プリンタドライバのインストールを行う前に、以下の動作環境を確認してください。

CPU	Intel IA-32
OS	Red Hat Linux 9.0 、SuSE Linux 8.2
コンピュータと プリンタの接続方法	USB 接続、パラレル接続、 ネットワーク接続（10Base-T/100Base-TX/1000 Base-T）
メモリ	OS が推奨する環境以上（128 MB 以上を推奨）
ネットワーク	LPR（queue: lp, LP, default, DEFAULT）
	AppSocket/HP JetDirect
ハードディスク 空き容量	256 MB 以上

 この章では、Red Hat 9.0 での操作を例に説明しています。

PPD ファイルをコマンドラインからインストールする

 プリンタドライバのインストールをする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。

 PPD ファイルのインストールにはルート権限が必要です。

1 Software Utilities CD-ROM から PPD ファイルを “/usr/share/cups/model/KONICA MINOLTA” にコピーします。

 OpenOffice から印刷するときは、「M5450opn.ppd」を使用してください。それ以外の場合は、M5450PX.ppd を使用してください。OpenOffice から印刷する方法については、「OpenOffice の場合」（p.79）をごらんください。

2 メインメニューから「システムツール」→「Terminal」を選択します。

3 “/etc/init.d/cups restart” と入力します。

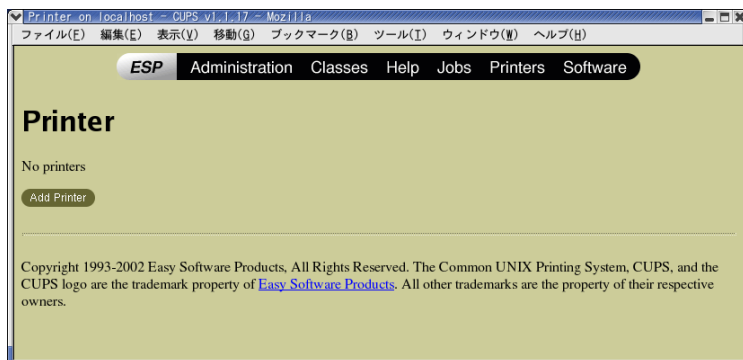
4 Terminal を終了します。

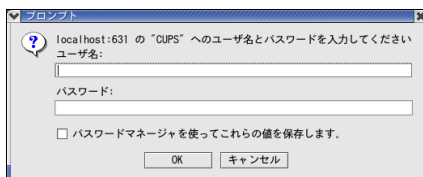
プリンタ追加

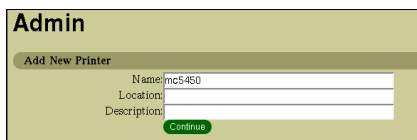
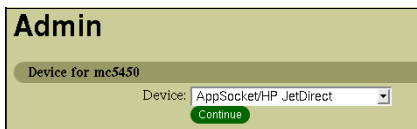
PPD をコピーしたあとは、必ず cups を再起動してください。

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力し、[Manage Printers] をクリックします。

CUPS Administration Web Page が表示されます。

3 [Add Printer] をクリックします。

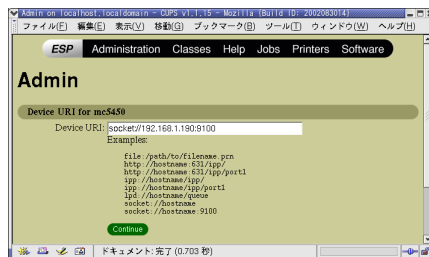
ポップアップウィンドウが表示されます。

4 ルート権限のユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

5 プリンターの名称、設置場所、説明を入力して、[Continue] をクリックします。

6 「Device」リストからデバイスポートを選択して、[Continue] をクリックします。

– TCP/IP の場合：「AppSocket/HP JetDirect」を選択

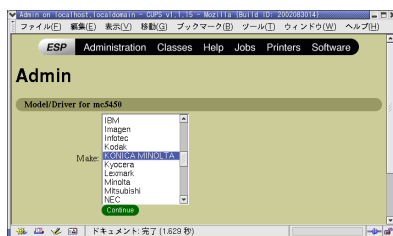
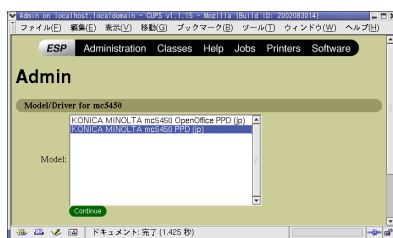
– USB 接続の場合：「USB Printer #1（KONICA MINOLTA magicolor 5450）」を選択

– パラレル接続の場合：「Parallel Pert #1」を選択

7 USB 接続またはパラレル接続の場合、手順 8 へすすみます。

デバイスの URI を以下の形式で入力します。socket://＜プリンタ名もしくはプリンタの IP アドレス＞［ポート番号］

入力例：
プリンタの IP アドレスの場合：socket://192.168.1.190:9100
プリンタ名の場合：socket://Hostname:9100
プリンタ名は IP アドレスで代用できます。また、ポート番号は省略することができます。

8 ［Continue］をクリックします。

9 「KONICA MINOLTA」を選択して、［Continue］をクリックします。

10 「KONICA MINOLTA magicolor 5450 PPD（ja）」を選択して、［Continue］をクリックします。

以下のメッセージが表示されます。

プリンタドライバの設定

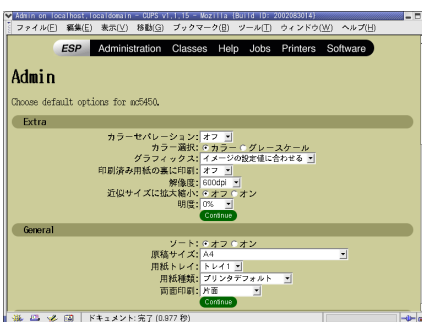
設定ページの表示

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力し、［Manage Printers］をクリックします。

設定ツールのプリンタ管理用 Web ページが表示されます。

3 ［Configure Printer］をクリックします。

プリンタドライバの設定ページが表示されます。

設定項目

Extra

項目	設定内容
カラーセパレーション	色分解の設定を**オン**、**オフ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
カラー選択	印刷する時の色を、**カラー**、**グレースケール**から指定します。 ・デフォルトの設定は**カラー**です。
グラフィックス	グラフィックの設定を**テキストの設定値に合わせる**、**イメージの設定値に合わせる**から選択します。 ・デフォルトの設定は**イメージの設定値に合わせる**です。
印刷済み用紙の裏に印刷	すでに印刷されている用紙の裏面に印刷する時に、**オン**を選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
解像度	印刷時の画像解像度（600dpi）が表示されます。
近似サイズに拡大縮小	トレイにある用紙サイズがページサイズに合わない場合、自動的にページを縮小もしくは拡大して、適切な用紙を選択します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
明度	イメージの明るさを **-15%**、**-10%**、**-5%**、**0%**、**5%**、**10%**、**15%** から選択します。 ・デフォルトの設定は **0%** です。

General

項目	設定内容
ソート	**オン**が選択されている場合、文書が丁合いされて印刷されます。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。
原稿サイズ	用紙のサイズを指定します。
用紙トレイ	給紙元を**トレイ 1**、**トレイ 2**、**トレイ 3**、**トレイ 4**、**トレイ 1（手差し）**、**Auto** から選択します。 ・デフォルトの設定は**トレイ 1** です。
用紙種類	用紙タイプを**プリンタデフォルト**、**普通紙**、**再生紙**、**OHP フィルム**、**光沢紙**、**ラベル紙**、**厚紙 1（91-150 g/m2）**、**厚紙 2（151-210 g/m2）**、**レターヘッド付き用紙**、**封筒**、**ハガキ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**プリンタデフォルト**です。
両面印刷	両面印刷したときの綴じる方向を、**片面**、**長辺を綴じる**、**短辺を綴じる**から選択します。 ・デフォルトの設定は**片面**です。

実装可能オプション

項目	設定内容
ハードディスク	プリンタにオプションのハードディスクが装着されている場合は、**有効**を選択します。 ・デフォルトの設定は**無効**です。
プリンタメモリ	プリンタにオプションの増設メモリが装着されている場合、**256 MB**、**512 MB**、**768 MB**、**1024 MB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **256 MB** です。
給紙ユニット	プリンタにオプションの増設トレイが装着されている場合は、**給紙ユニット 3**、**給紙ユニット 3 + 4** から選択します。 ・デフォルトの設定は**無効**です。
両面ユニット	プリンタにオプションの両面プリントユニットが装着されている場合は、**有効**を選択します。 ・デフォルトの設定は**無効**です。

イメージ設定

項目	設定内容
イメージ RGB カラー	画像の RGB カラープロファイルを**デバイス色**、**sRGB**、**Adobe RGB (1998)**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**Blue Adjust RGB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
イメージ RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は **4 色（CMYK）トナー**です。
イメージ RGB 色変換	画像の RGB 特性を**鮮やか**、**写真調**、**色の一致**、**完全一致**から選択します。 ・デフォルトの設定は**写真調**です。
イメージ スクリーン	画像データの中間色の再現方法を**高精細**、**精細**、**スムーズ**から選択します。 ・デフォルトの設定は**精細**です。

シミュレーション

項目	設定内容
CMYK グレー再現	黒色とグレイの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は **4 色（CMYK）トナー**です。
シミュレーションプロファイル	RGB カラープロファイルを**デバイス色**、**SWOP**、**Euroscale**、**Commercial Press**、**DIC**、**TOYO** から選択します。 ・デフォルトの設定は**デバイス色**です。
用紙下地色にあわせる	**オン** が選択されている場合、下地色を印刷します。 ・デフォルトの設定は**オフ**です。

テキスト設定

項目	設定内容
テキスト RGB カラー	テキストの RGB カラープロファイルを**デバイス色**、**sRGB**、**Adobe RGB (1998)**、**Apple RGB**、**ColorMatch RGB**、**Blue Adjust RGB** から選択します。 ・デフォルトの設定は **sRGB** です。
テキスト RGB グレー再現	RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を **4 色（CMYK）トナー**、**全て黒（K）トナー**、**黒のみ黒トナー**から選択します。 ・デフォルトの設定は**全て黒（K）トナー**です。
テキスト RGB 色変換	テキストの RGB 特性を**鮮やか**、**写真調**、**色の一致**、**完全一致**から選択します。 ・デフォルトの設定は**鮮やか**です。
テキスト スクリーン	テキストの中間色の再現方法を**高精細**、**精細**、**スムーズ** から選択します。 ・デフォルトの設定は**高精細**です。

Banners

項目	設定内容
Starting Banner	開始バナーを **none**、**classified**、**confidential**、**secret**、**standard**、**topsecret**、**unclassified** から選択します。 ・デフォルトの設定は **none** です。
Ending Banner	終了バナーを **none**、**classified**、**confidential**、**secret**、**standard**、**topsecret**、**unclassified** から選択します。 ・デフォルトの設定は **none** です。

文書を印刷する

アプリケーションによって、印刷ダイアログおよび印刷設定ダイアログの内容が異なります。

LPR コマンドを使用する場合

OpenOffice 以外の場合、下記の印刷ダイアログが表示されます。

1 印刷ダイアログの［プロパティ］をクリックします。

2 印刷プロパティダイアログが表示されます。

3 印刷コマンドの入力欄に“lpr -p”と入力して、プリンタ名を追加し、［OK］をクリックします。
印刷ダイアログに戻ります。

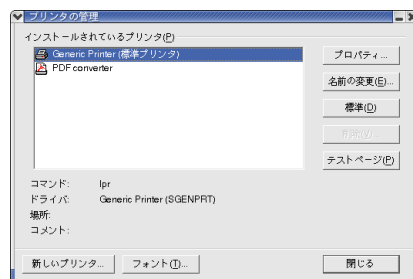
4 印刷ダイアログで［印刷］をクリックして、文書を印刷します。

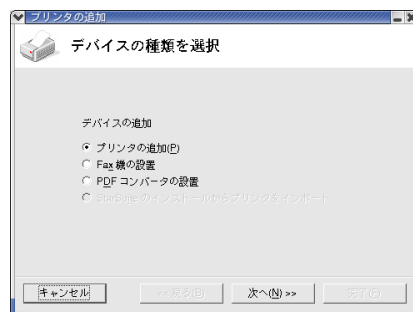
OpenOffice の場合

下記は、Red Hat 9 上で OpenOffice 1.0.2 を使用した場合の手順です。お使いの OS のバージョンによっては下記の手順と操作が異なる場合があります。

あらかじめ M5450opn.ppd を使用して、システムに OpenOffice 用のプリンタを追加しておいて下さい。プリンタをシステムに追加する方法については、「プリンタ追加」（p.70）をごらんください。

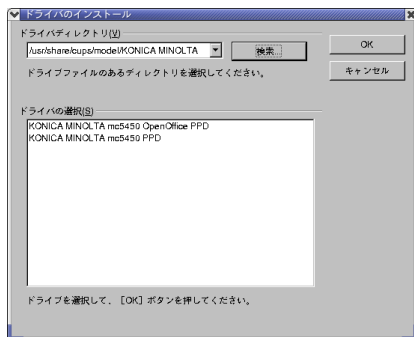
1 メインメニューから「オフィス」→「OpenOffice .org のプリンター設定」を選択します。

プリンタの管理ダイアログが表示されます。

2 ［新しいプリンタ］をクリックします。

プリンタの追加ダイアログが表示されます。

3 ［プリンタの追加］が選択されていることを確認して、［次へ］をクリックします。

プリンタの選択ダイアログが表示されます。

4 ［インポート］をクリックします。

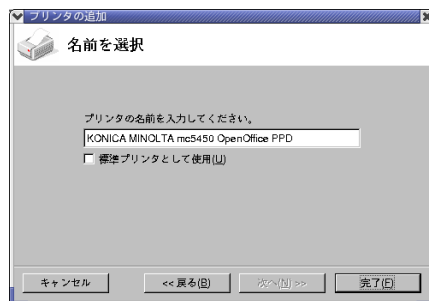
ドライバのインストールダイアログが表示されます。

5 ドライバのディレクトリに“usr/share/cups/model/KONICA MINOLTA/”と入力します。

6 ［ドライバの選択］リストから、「KONICA MINOLTA mc5450 OpenOffice.PPD」を選択します。

7 ［OK］をクリックします。

8 KONICA MINOLTA mc5450 OpenOffice.PPD を選択して、［次へ］をクリックします。

9 コマンドラインに“lpr -p”と入力して、OpenOffice 用に作成したプリンタの名前を追加し、［次へ］をクリックします。

10 プリンタ名を変更します。

11 ［完了］をクリックします。プリンタの管理ダイアログに戻ります。

12 ［閉じる］をクリックします。

13 メインメニューから「オフィス」→「OpenOffice.org Writer」を選択します。

14 OpenOffice のメニューから［印刷］をクリックします。

印刷ダイアログが表示されます。

15 OpenOffice .org のプリンター設定で登録したプリンタの名前を選択します。

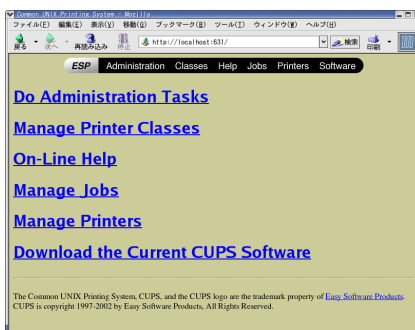
16 ［OK］をクリックします。

印刷ジョブの確認

ブラウザからプリントジョブを確認することができます。

1 ブラウザを起動します。

2 URL に“http://localhost:631”と入力します。

CUPS Administration Web Page が表示されます。

3 ［Manage Jobs］をクリックします。

現在の有効なジョブが表示されます。

印刷を終了したジョブを確認するときは、［Show Complete Jobs］をクリックします。

トラブルシューティング

症状	対応・処置
プリンタがサイズエラーもしくはタイプエラーで止まってしまう。	ペーパーサイズとメディアタイプなどが禁止されている組み合わせで送信されている可能性があります。はがきや OHP は普通紙モードでは印字できません。
カスタムペーパーサイズで印字できない。	カスタムペーパーサイズはドライバから直接印字できません。コマンドラインからのみの印字をサポートしています。以下の様に指定することによりデータを印字できます。lpr -P［プリンタ名］-o media=Custom.［WIDTH × LENGTH］［ファイル名］ 1. Custom.［WIDTH × LENGTH ］のフォーマット：Custom.150 × 200 mm、Custom.8 × 11 in、Custom.15 × 20 cm、Custom.612 × 782（postscript ポイント） 2. データのファイル形式は PS、PDF、JPEG が対応
OpenOffice やその他オフィス系アプリケーション（Kword など）で正しく印字できないことがある。	Linux 上のアプリケーションはアプリケーション自体が印字に関する設定を独自に持っています。これらの中には本プリンタでサポートされていない機能もあります。以下のように設定場所を使い分けてください。 ■ アプリケーションから設定する項目：用紙サイズ、オリエンテーション ■ プリンタドライバ GUI（kprinter）から設定する項目：用紙タイプ、トレイ、解像度指定など上記以外
Kword で Watermark が印字できない。	Kword のバグです。オーバーレイをご使用ください。

Crown プリントモニタ + の使い方

Crown プリントモニタ + のインストール後に Crown ポートを追加する

Crown プリントモニタ + のインストールが終了した後でも、以下の手順で新しい Crown ポートを追加することができます。

以下の説明では、Crown プリントモニタ + がすでにコンピュータにインストールされているものとします。

Windows XP/2000/NT4.0 の場合

1 「スタート」—「プリンタと FAX」を選択します。

Windows 2000 と Windows NT4.0 の場合は、「スタート」—「設定」—「プリンタ」を選択します。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

3 「ポート」タブを選択します。

4 「ポートの追加」ボタンをクリックします。

「プリンタポート」画面が表示されます。

5 「利用可能なポートの種類」リストから「Crown Port+」を選択し、「新しいポート」ボタンをクリックします。

「Crown ポート + の追加」画面が表示されます。

Windows NT4.0 では、「利用可能なプリンタポート」リストから「Crown Port+」を選択します。

6 「IP アドレス」テキストボックスに、プリンタの IP アドレスを入力します。

このアドレスは、一意的なホスト名、またはプリンタのドット表記識別子（IP アドレス）を入力してください。

本プリンタでは、プリンタの検索機能はサポートしません。

7 「ポート名称」テキストボックスに、ポートの論理名を入力します。

ポートの論理名は、ポートの記述識別子です。各ポート名は一意的でなければなりません。

ポート名は、最大 128 文字まで入力できます。

「IP アドレス」テキストボックスに何も入力しなかった場合、「ポート名称」テキストボックスに入力した文字列が「IP アドレス」テキストボックスにもそのまま入力されます。必要に応じて、それぞれの値を変更してください。

8 「OK」ボタンをクリックします。

「アドバンスド」ボタンをクリックすると、「CrownPort の詳細設定」画面が表示され、Crown ポートの詳細な設定が行えます。詳しくは、「Crown ポートの詳細設定」（p.89）をごらんください。

9 「プリンタポート」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

10 プリンタのプロパティ画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合は、「OK」ボタンをクリックします。

Windows Me/98SE の場合

1 「スタート」—「設定」—「プリンタ」を選択します。

2 プリンタのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

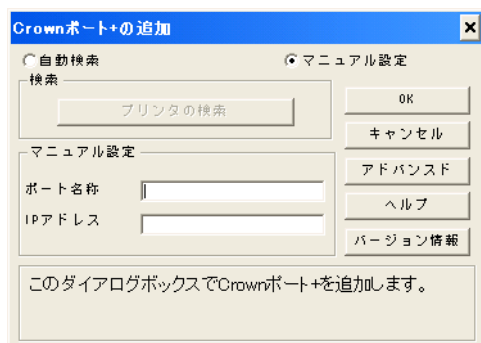
3 「詳細」タブを選択します。

4 「ポートの追加」ボタンをクリックします。

「ポートの追加」画面が表示されます。

5 「その他」を選択し、「追加するポートの種類」リストから「Crown Port+」を選択します。

6 「OK」ボタンをクリックします。

「Crown ポート + の追加」画面が表示されます。

7 「IP アドレス」テキストボックスに、プリンタの IP アドレスを入力します。

このアドレスは、一意的なホスト名、またはプリンタのドット表記識別子（IP アドレス）を入力してください。

本プリンタでは、プリンタの検索機能はサポートしません。

8 「ポート名称」テキストボックスに、ポートの論理名を入力します。

ポートの論理名は、ポートの記述識別子です。各ポート名は一意的でなければなりません。

ポート名は、最大 128 文字まで入力できます。

「IP アドレス」テキストボックスに何も入力しなかった場合、「ポート名称」テキストボックスに入力した文字列が「IP アドレス」テキストボックスにもそのまま入力されます。必要に応じて、それぞれの値を変更してください。

9 「OK」ボタンをクリックします。

「アドバンスド」ボタンをクリックすると、「CrownPort の詳細設定」画面が表示され、Crown ポートの詳細な設定が行えます。詳しくは、「Crown ポートの詳細設定」（p.89）をごらんください。

10 プリンタのプロパティ画面で「OK」ボタンをクリックします。

Crown ポートの詳細設定

「CrownPort の詳細設定」画面で、Crown ポートの詳細な設定を行います。

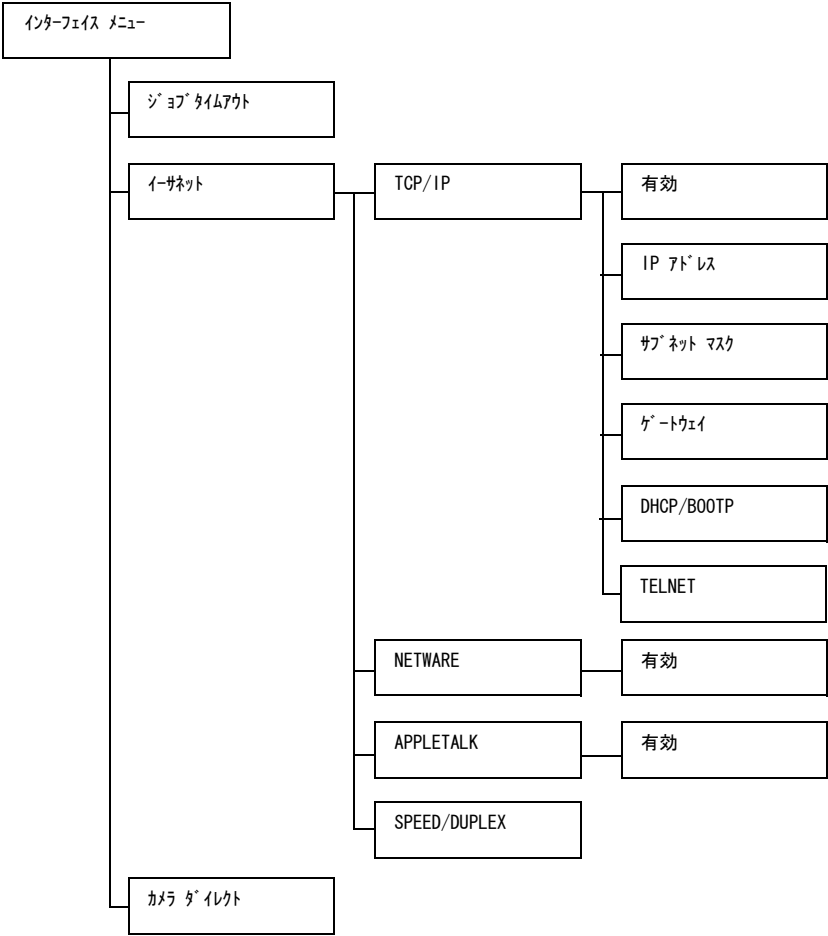
項目	初期設定	機能
ステータス更新間隔	5 秒	このポートに接続されたプリンタのステータス情報で、Crown プリントモニタ + がプリントマネージャを更新する間隔を設定します。
ステータス要求タイムアウト	10 秒	Crown プリントモニタ + がプリントマネージャにプリンタから応答がないことを通知するまでの、プリンタからの応答の待機時間を設定します。
送信要求タイムアウト	60 分	Crown プリントモニタ + が Microsoft プリントスプーラに制御を返すまで、プリントジョブが送信されるのを待機する時間を設定します。 タイマーで設定した時間が経過したときに、ジョブが Windows 2000/NT4 サーバ経由で送信済みの場合は、プリントジョブは自動的に終了し、システムから削除されます。 タイマーで設定した時間が経過したときに、ジョブがワークステーション経由で送信済みの場合は、Windows XP/2000/NT4 の「Print Spooler」ダイアログが現れ、応答の再試行を行うかキャンセルするかの確認メッセージが表示されます。応答を行うかどうかに関係なく、ジョブは終了し、システムから削除されます。

項目	初期設定	機能
ポートの設定	9100	9100 を選択してください。 本プリンタでは、ポート 35 はサポートしません。

イーサネット設定メニューについて

5

イーサネットメニュー

設定メニューの構成

イーサネットメニューの表示

プリンタの操作パネルで以下のキー操作を行い、プリンタのイーサネットメニューの設定項目を表示します。このメニューでは、設定可能なネットワークの項目をすべて表示できます。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
＊ メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ
＊ メニュー 選択 ↵	ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
▽	ｲｰｻﾈｯﾄ
＊ メニュー 選択 ↵	TCP/IP

イーサネットの設定を変更すると、プリンタが自動的に再起動します。

イーサネットメニューの設定項目

プリンタがネットワーク接続されている場合は、以下の項目を設定する必要があります。各設定項目の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

手動で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する場合は、はじめに DHCP セットの設定をオフにしてください。

TCP/IP

有効

目的	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、TCP/IP が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、TCP/IP が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

IP アドレス

目的	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

サブネット マスク

目的	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。サブネットマスクを使用して、プリンタの利用可能な範囲を制限することができます（例えば、部署ごとに範囲を設定できます）。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	255.255.000.000

ゲートウェイ

目的	ネットワーク上にルータ／ゲートウェイがあり、サブネットを越えた先のネットワーク上のユーザからもプリンタを利用できるようにする場合に、ルータ／ゲートウェイのアドレスを設定します。
範囲	各 3 桁の数値：0 ～ 255 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。 ◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。
初期値	000.000.000.000

DHCP/BOOTP

目的	ネットワーク内に DHCP サーバまたは BOOTP サーバがある場合に、DHCP サーバまたは BOOTP サーバから自動的に IP アドレスを取得、また他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。
設定値	ｵﾝ ｵﾌ
初期値	ｵﾝ

TELNET

有効

目的	Telnet による通信を有効にするかどうかを選択します。 有効を選択すると、Telnet による通信が有効になります。 無効を選択すると、Telnet による通信が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	有効

NETWARE

有効

目的	NetWare を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、NetWare が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、NetWare が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

APPLETALK

有効

目的	AppleTalk を有効にするかどうかを設定します。 「ﾊｲ」に設定すると、AppleTalk が有効になります。 「ｲｲｴ」に設定すると、AppleTalk が無効になります。
設定値	ﾊｲ ｲｲｴ
初期値	ﾊｲ

SPEED/DUPLEX

目的	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
設定値	自動 10BASE FULL 10BASE HALF 100BASE FULL 100BASE HALF 1000BASE FULL
初期値	自動

カメラ ダイレクト

有効

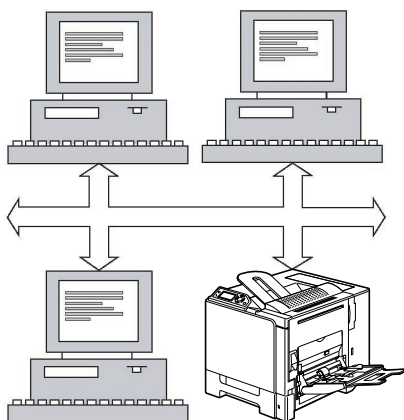
目的	カメラダイレクト機能を有効にするかどうかを選択します。 有効を選択すると、カメラダイレクト機能が有効になります。 無効を選択すると、カメラダイレクト機能が無効になります。
設定値	有効 無効
初期値	有効

ネットワーク印刷

ネットワーク接続

概念図

プリンタを TCP/IP ネットワークに接続するには、内部ネットワークアドレスをプリンタに設定しておく必要があります。

多くの場合、他で使用されていない IP アドレスのみを入力します。ただし、ネットワーク環境によっては、サブネットマスク／ゲートウェイ（ルータ）アドレスも入力する必要があります。

接続方法

イーサネット接続の場合

標準イーサネットインターフェースは RJ45 コネクタで、伝送速度が 10 ～ 100 メガビット／秒（Mbit/s）です。

プリンタをイーサネットネットワークに接続するときは、プリンタの IP（Internet Protocol）アドレスの設定方法によって、操作手順が異なります。プリンタの工場出荷時には、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが設定されています。

- IP アドレス：TCP/IP ネットワーク上で各デバイスを識別する固有の値
- サブネットマスク：IP アドレスが属するサブネットを判断するために使用されるフィルタ
- ゲートウェイ：サブネットを越えて通信する場合に最初に経由する、ネットワーク上のノード（機器）

ネットワーク上にある各コンピュータとプリンタの IP アドレスは固有のアドレスでなければならないため、通常プリンタの初期設定のアドレスを変更して、そのネットワークや周りのネットワーク上にある他の機器の IP アドレスとコンフリクト（競合）しないようにする必要があります。2 種類の方法のいずれかでその変更を行うことができます。それぞれの方法について、以下に詳しく説明します。

- DHCP を使用する場合
- アドレスを手動設定する場合

DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、プリンタの電源をオンにすると、DHCP サーバによってプリンタの IP アドレスが自動的に割り当てられます。（DHCP の説明については、「ネットワーク印刷」（p.106）を参照してください。）

プリンタの IP アドレスが自動的に設定されない場合は、プリンタの設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）。DHCP が使用可能になっていない場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/DHCP/BOOTP」メニューで「ｵﾝ」を選択してください。

1 プリンタをネットワークに接続します。

イーサネットケーブルのコネクタ（RJ45）を、プリンタのインターフェースパネルのイーサネットポートに差し込んで、プリンタをネットワークに接続します。

2 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

3 プリンタのメッセージ画面に「印刷可」と表示されたら、設定リストページを印刷し、IP アドレスが設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
★ メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	印刷ﾒﾆｭｰ
★ メニュー 選択 ↵	設定ﾘｽﾄ
★ メニュー 選択 ↵	印刷
★ メニュー 選択 ↵	

4 プリンタドライバをインストールします。

DHCP サーバに接続できない場合、169.254.0.0 から 169.254.255.255 の範囲で、IP アドレスが自動的に設定されます。

アドレスを手動設定する場合

以下の方法で、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。（詳しくは、第 5 章 " イーサネット設定メニューについて " を参照してください。）

手動で IP を設定する場合は、「ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ / ｲｰｻﾈｯﾄ /TCP/IP/DHCP/BOOTP」で「ｵﾌ」を選択してください。
また、IP アドレスを変更した場合は、あらたにポートを追加するか、プリンタドライバを再インストールしてください。

ご注意

プリンタの IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

---

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージ画面に「印刷可」と表示されたら、IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
★ メニュー 選択 ↵	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ
★ メニュー 選択 ↵	ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ
▽	ｲｰｻﾈｯﾄ
★ メニュー 選択 ↵	TCP/IP
★ メニュー 選択 ↵	有効
▽	IP ｱﾄﾞﾚｽ
★ メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
★ メニュー 選択 ↵	IP ｱﾄﾞﾚｽ xxx.xxx.xxx.xxx

3 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順 4 にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▽	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
* メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 255.255.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
* メニュー 選択 ↵	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ XXX.XXX.XXX.XXX

4 ゲートウェイを設定しない場合は、手順 5 にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
▽	ｹﾞｰﾄｳｪｲ
* メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ 000.000.000.000
◁、▷ キーを押して 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 △ 、▽ キーを押して各桁の数値を増減させます。	
* メニュー 選択 ↵	ｹﾞｰﾄｳｪｲ xxx.xxx.xxx.xxx

5 設定変更を保存し、プリンタを印刷可能な状態に戻します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
ｷｬﾝｾﾙ もしくは ◁	キーを 2 回押して、プリンタを再起動します。

6 プリンタを再起動した後、設定リストページを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	印刷可
* ﾒﾆｭｰ 選択	保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ もしくは、オプションのハードディスクが装着されていない場合： 印刷ﾒﾆｭｰ
▽	印刷ﾒﾆｭｰ
* ﾒﾆｭｰ 選択	設定ﾘｽﾄ
* ﾒﾆｭｰ 選択	印刷
* ﾒﾆｭｰ 選択	

7 プリンタドライバをインストールします。

ネットワーク印刷

ここでは、ネットワーク印刷に関する用語を説明します。

- Bonjour
- BOOTP
- DHCP
- DDNS
- HTTP
- IPP
- IPX/SPX
- LPD/LPR
- NetBEUI
- SLP
- SNMP
- Port 9100
- SMB
- SMTP
- IPX/SPX
- NetBEUI

本章では、これらのネットワーク印刷に関する用語と、IPP 印刷の方法について説明します。

Bonjour

Bonjour は、ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術です。以前は Rendezvous と呼ばれていましたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更されました。

BOOTP

BOOTP（Bootstrap Protocol）は、ディスクレスクライアントが、自己の IP アドレス、ネットワーク上の BOOTP サーバの IP アドレス、
起動するためにメモリにロードするファイルを取得できるようにするインターネットプロトコルです。BOOTP により、クライアントは、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブがなくても起動できるようになります。

DHCP

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）は、動的 IP アドレスをネットワーク上のデバイスに割り当てるプロトコルです。動的 IP アドレスを使用するため、デバイスはネットワークに接続するたびに異なる IP アドレスを取得することもあります。システムによっては、デバイスがネットワークに接続され続けていても IP アドレスが途中で変わることもあります。また、DHCP は固定 IP アドレスと動的 IP アドレスの両方が存在する環境にも対応しています。動的アドレスを使用すると、ソフトウェアが IP アドレスの情報を把握するため、ネットワーク管理者が IP アドレスの管理を行うよりも、ネットワーク管理が簡単になります。例えば、固有の IP アドレスを手動で割り当てる手間をかけずに、新しいデバイスをネットワークに追加することができます。

DDNS (Dynamic DNS)

DDNS (Dynamic Domain Name System) は、動的に割り当てられる IP アドレスを、自動的に固定ドメインに割り当てる技術です。

近年、常時接続環境が整ってきたことにより、自宅のパソコンをインターネットに Web サーバとして公開しようとするユーザが増えてきました。ただ、インターネットサービスプロバイダから提供される IP アドレスは、接続のたびに変更される場合が多く、インターネットに公開するには不便でした。

DDNS サービスを利用することにより、常に固定のホスト名で自宅サーバにアクセスすることが可能になります。

HTTP

HTTP（HyperText Transfer Protocol）は、ワールドワイドウェブ（WWW）で使用されている基礎となるプロトコルです。HTTP では、メッセージの書式、送信方法や、各種コマンドに対する Web サーバとブラウザの動作が規定されています。例えば、ブラウザで URL を入力すると、実際には、要求した Web ページの取得と送信を指示する HTTP コマンドがその Web サーバに送られます。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol）は、インターネット経由での印刷を行うプロトコルです。IPP により、ユーザは、プリンタの機能の確認、プリンタへのプリントジョブの送信、プリンタやプリントジョブの状況確認、送信済みのプリントジョブのキャンセルが可能です。

IPP の使用方法についての詳細は、「IPP（Internet Printing Protocol）印刷ー Windows XP/Server 2003/2000」（p.110）を参照してください。

LPD/LPR

LPD/LPR（Line Printer Daemon/Line Printer Request）は、TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。もともとBSD UNIX 用に開発されましたが、一般のコンピュータでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっています。

SLP

従来は、ネットワーク上のサービスの場所を確認するためには、利用したいサービスを提供しているコンピュータのホスト名やネットワークアドレスをユーザが入力する必要がありました。そのために多くの管理上の問題が発生しました。

ところが、SLP を使用して、いくつかのネットワークサービスを自動化することにより、プリンタなどのネットワークリソースを簡単に確認、利用できるようになりました。

SLP のユーザはネットワークのホスト名を把握しておく必要がなくなり、代わりに、利用したいサービスの内容のみを知っておくだけでよくなりました。さらに、SLP は利用したいサービスの URL を返すこともできます。

ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト

SLP はユニキャストとマルチキャストに対応したプロトコルです。つまり、メッセージは一度に 1 エージェントに送信されるか（ユニキャスト）、受信可能な全エージェントに同時に送信されます（マルチキャスト）。ただし、マルチキャストはブロードキャストとは異なります。理論上は、ブロードキャストメッセージはネットワーク上のすべてのノード（機器）に届きます。マルチキャストメッセージはマルチキャストグループに入っているノード（機器）にしか届かないという点で、ブロードキャストとは異なります。

ネットワーク上のルータはほとんどブロードキャストデータを通過させません。つまり、サブネット上から発信されたブロードキャストはルーティングされないか、またはそのルータに接続された他のどのサブネットにも転送されません（ルータ側から見ると、1 つのサブネットは、ルータのポートに接続されたすべてのコンピュータになります）。

これに対し、マルチキャストはルータによって転送されます。あるグループから発信されたマルチキャストのデータは、そのグループ用のマルチキャストデータを受信可能なコンピュータが 1 台以上あるサブネットすべてに、ルータから転送されます。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、複雑なネットワークを管理するプロトコルの集合です。SNMP は、ネットワークのいろいろな場所にメッセージを送信して動作します。SNMP 対応のデバイス（エージェントと呼ばれます）は、そのデバイスに関するデータを MIB（Management Information Bases）に記録し、そのデータを SNMP リクエスタに返します。

Port 9100

ネットワーク経由で印刷をする場合、TCP/IP の port 番号 9100 を利用して raw データを送信することができます。

SMB

SMB（Server Message Block）は Windows 環境でファイルやプリンタなど、ネットワーク上のリソースを共有するためのプロトコルです。

Linux や UNIX などで、Samba というサーバーソフトウェアを利用すると、SMB を使ったサービスを提供することができます。

SMTP

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、電子メールをやりとりするためのプロトコルです。

もともとはサーバ同士でメールをやり取りするために使われていましたが、現在は電子メールクライアントソフトウェアが、POP を使用してサーバにメールを送信するためにも利用されています。

IPX/SPX

IPX/SPX (Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange) は、Novel 社により開発されたネットワークプロトコルです。TCP/IP が普及する以前の一般的な LAN プロトコルで、主に NetWare 環境で使用されていました。

NetBEUI

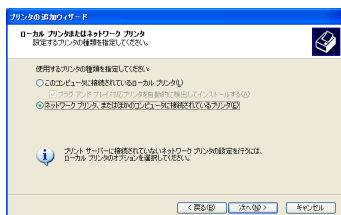
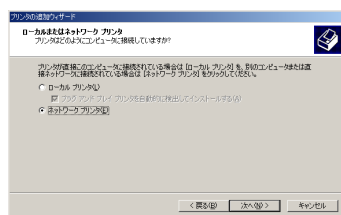
NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) は、IBM 社により開発されたネットワークプロトコルです。コンピュータ名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できます。

IPP（Internet Printing Protocol）印刷－ Windows XP/ Server 2003/2000

「プリンタの追加」ウィザードからの IPP ポートの追加

- Windows XP Home Edition の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「プリンタと FAX」を選択します。次に「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows 2000 の場合：［スタート］ボタンをクリックし、「設定」から「プリンタ」を選択します。次に「プリンタの追加」をクリックします。

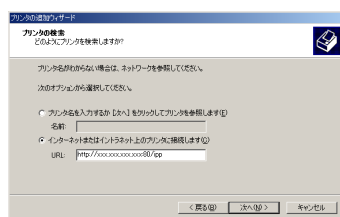
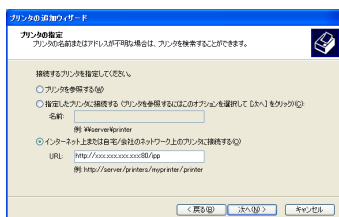
1 2 番目に表示される画面で「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」（Windows XP/Server 2003 の場合）、または「ネットワーク プリンタ」（Windows 2000 の場合）を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

2 次に表示される画面で、「URL」に以下のいずれかの形式でプリンタのネットワークパス名を入力し、［次へ］をクリックします。

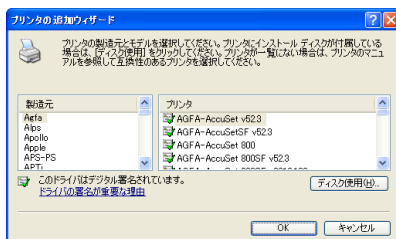
- http://IP アドレス /ipp
- http://IP アドレス :80/ipp
- http://IP アドレス :631/ipp

Windows 2000 では、ポート 631 はサポートしません。

Windows XP/Server 2003　　Windows 2000

- Windows XP/Server 2003 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報を参照するには、[ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。
- Windows 2000 :「プリンタへ接続できませんでした。入力されたプリンタ名が正しくないか、または指定されたプリンタがサーバーに接続されていません。詳細な情報については [ヘルプ] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックして前の画面に戻り、有効なパス名を入力しなおしてください。

3 Windows XP/Server 2003 の場合 : 手順 4 にすすんでください。

Windows 2000 の場合 : 手順 2 で有効なパス名を入力すると、「KONICA MINOLTA magicolor 5450 プリンタが接続されているサーバーに正しいプリンタドライバがインストールされていません。ローカルコンピュータにドライバをインストールする場合は [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。これはプリンタドライバがまだインストールされていないためです。[OK] をクリックします。

4 [ディスク使用] をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバファイルがあるフォルダ（例 : drivers\windows 2000, XP, 2003\ps\Japanese）を指定し、[OK] をクリックします。

5 プリンタドライバのインストールを完了します。

トラブルシューティング

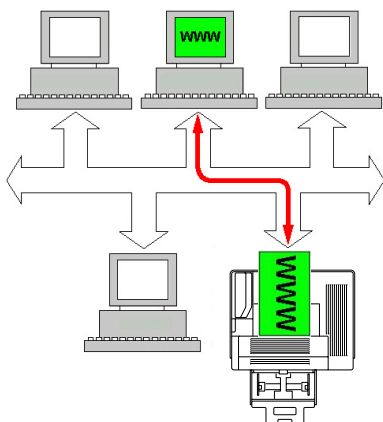
症状	対応処置
SMB 印刷時にうまく印刷できない。	以下の手順で、プリンタをローカルにインストールし直してください。 1. プリンタフォルダからプリンタのアイコンを削除します。 2. プリンタドライバと SMB ポートを、システムから削除します。 3. プリンタの追加ウィザードを使用して、プリンタをローカルプリンタとしてインストールします。このとき、新規にローカルポートを作成し、SMB ポート名を指定してください。
サーバが Windows Server 2003/XP/2000 で、クライアントが Windows NT4.0 のとき、ポイントアンドプリントでクライアント側の一部の機能が使えない。	クライアント側に直接プリンタドライバをインストールしてください。

7

PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection について

PageScope Web Connection は、プリンタに内蔵されている HTTP（Hyper-Text Transfer Protocol）ベースの Web ページで、Web ブラウザを使用してアクセスすることができます。

PageScope Web Connection を使用すると、プリンタのステータス（状況）や、プリンタで頻繁に使用する設定内容をすぐに確認することができます。どなたでも Web ブラウザを使用してネットワーク上のプリンタにアクセスすることができます。また、パスワードを正しく入力すれば、そのコンピュータ上でプリンタの設定を変更することができます。

管理者からパスワードを知らされていないユーザは、設定内容を確認できますが、設定内容を変更できません。

表示言語

PageScope Web Connection 上で表示される言語は、プリンタの操作パネルで設定できます。表示言語の設定の詳細については、magicolor 5450 ユーザーズガイドをごらんください。

また、PageScope Web Connection の「言語」プルダウンリストから言語を選択することもできます。

動作環境

PageScope Web Connection を使用するには、以下の環境が必要です。

- Windows XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT4.0、Mac OS 9/X
- Microsoft Internet Explorer バージョン 5.5 以降
  Netscape Navigator バージョン 7.1 以降

  インターネットへ接続する必要はありません。
- お使いのコンピュータに TCP/IP 接続ソフトウェアがインストールされていること（PageScope Web Connection で使用されます）
- お使いのコンピュータとプリンタの両方がネットワークに接続されていること

ローカル接続（USB もしくはパラレル接続）の場合は、PageScope Web Connection にアクセスできません。コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されている場合は、ステータスディスプレイを使用してください。

プリンタ内蔵 Web ページの設定

プリンタ内蔵 Web ページをネットワーク上で動作させるためには、以下の 2 つの設定が必要です。

■ プリンタの名前とアドレスを設定します。

■ Web ブラウザ上で「プロキシなし」の設定を行います。

プリンタ名の設定

プリンタの内蔵 Web ページには、以下の 2 種類の方法でアクセスできます。

ネットワークが WINS をサポートしている場合は、WINS 経由でプリンタ名を指定することもできます。

■ プリンタに割り当てられた名前を使用する

プリンタ名はコンピュータ内の IP ホストテーブル（ファイル名は“hosts”）で設定されており、通常システム管理者によって割り当てられます（例：magicolor 5450）。IP アドレスよりもプリンタ名を使用する方が扱いやすい場合もあります。

コンピュータ内のホストテーブルファイルの場所

- Windows XP/Server 2003 ¥windows¥system32¥drivers¥etc¥hosts
- Windows Me/98SE ¥windows¥hosts
- Windows 2000/NT4.0 ¥winnt¥system32¥drivers¥etc¥hosts

■ プリンタの IP アドレスを使用する

プリンタの IP アドレスは固有の番号であるため、特にネットワーク上で多くのプリンタが動作している場合は、入力する値として識別しやすい場合があります。プリンタの IP アドレスは、設定リストページに記載されています。

プリンタの設定メニュー内の設定リストページの場所

- 「印刷ﾒﾆｭｰ — 設定ﾘｽﾄ」メニュー

Web ブラウザの設定

プリンタはイントラネット上にあり、ネットワークのファイアウォールを越えてはアクセスできないため、お使いの Web ブラウザで正しく設定を行う必要があります。Web ブラウザの設定画面の「プロキシなし」のリストにプリンタの名前または IP アドレスを追加する必要があります。

この操作は一度だけ行えば、それ以降は設定の必要ありません。

以下に記載しているサンプル画面は、ソフトウェアのバージョンや使用している OS によって異なる場合があります。

ここでの例では、プリンタの IP アドレスの部分を「xxx.xxx.xxx.xxx」と表しています。必ず上位桁の 0 を入れずにお使いのプリンタの IP アドレスを入力してください。例えば、192.168.001.002 の場合は 192.168.1.2 として入力します。

Internet Explorer（Windows 版バージョン 6.0）

1 Internet Explorer を起動します。

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選択します。

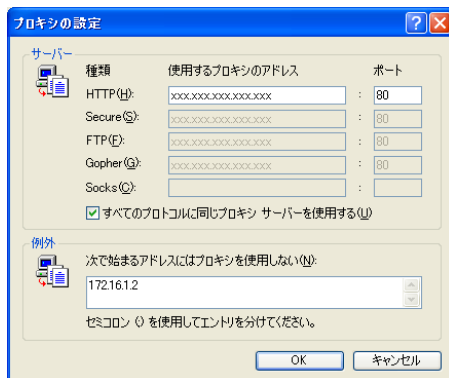
3 画面の「接続」タブをクリックします。

4 ［LAN の設定］ボタンをクリックして、ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定画面を表示します。

5 プロキシ サーバー内の［詳細設定］ボタンをクリックして、プロキシの設定画面を表示します。

6 必要に応じて「例外」テキストボックスにお使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

7 ［OK］を 3 回クリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

8 URL 入力ボックスにプリンタの IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

Netscape Navigator（バージョン 7.1）

1 Netscape Navigator を起動します。

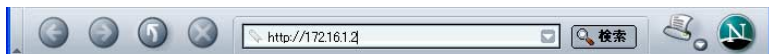
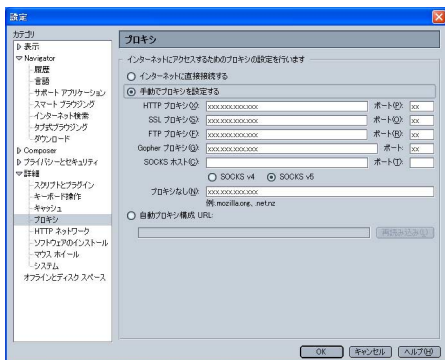
2「編集」メニューから「設定」を選択します。

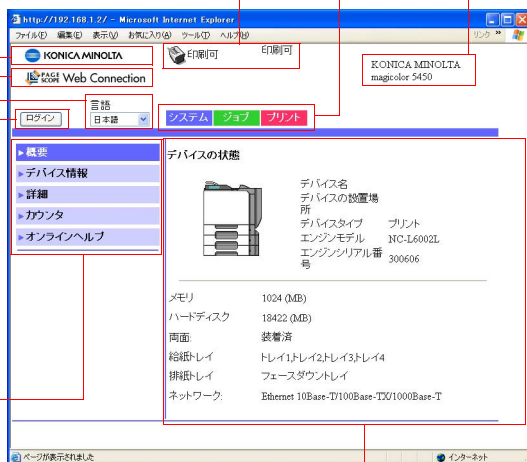
3 画面の左側の欄から「詳細／プロキシ」ディレクトリを選択します。

4「手動でプロキシを設定する」を選択します。

5「プロキシなし」テキストボックスに、最後のエントリの後にコンマを入力してから、お使いのプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

6 ［OK］をクリックして、Web ブラウザのメインウィンドウに戻ります。

7 URL 入力ボックスにプリンタの名前または IP アドレスを入力して、プリンタの Web ページにアクセスします。

PageScope Web Connection ウィンドウについて

以下の画面図では、PageScope Web Connection ウィンドウ内をナビゲーションエリアと設定エリアに分けて説明しています。

操作方法

メインタブとサブメニューを選択すると、選択した設定項目が設定エリアに表示されます。

現在の設定を変更する場合は、現在設定されている値をクリックし、項目の選択や新しい値の入力を行います。

設定変更の適用、保存を行うためには、管理者モードでログインする必要があります。（「管理者モード」（p.121）を参照してください。）

ステータス表示

プリンタの現在の状態（ステータス）は、PageScope Web Connection ウィンドウの上部に常に表示されます。以下のアイコンによって、ステータスの種類を表します。

アイコン	ステータス	説明	例
	レディ	プリンタがオンライン状態で、印刷可能状態または印刷中です。	印刷可 印刷中
	注意	プリンタに注意が必要ですが、印刷は続行可能です。	用紙なし ﾄﾚｲ 1 ﾄﾅｰ残量少 Y
	エラー	次に印刷を行う前に注意が必要です。	ﾄﾅｰなし Y 紙詰まり ﾄﾚｲ 1
	トラブル	プリンタを再起動する必要があります。再起動してもエラーが消えない場合は、修理が必要です。	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙ XXX

ユーザモード

PageScope Web Connection を表示すると、自動的にユーザモードの状態になっています。ユーザモードでは設定内容を確認できますが、設定の変更はできません。

管理者モード

PageScope Web Connection 上で設定を変更する場合は、まず管理者モードに入る必要があります。

1 ［ログイン］ボタンをクリックします。

2 「アドミンパスワード」ボックスにパスワードを入力します。

初期設定ではパスワードは設定されていませんが、管理者モードに入り、システム／管理者パスワード画面でパスワードを設定することができます。

3 ［ログイン］ボタンをクリックします。

間違ったパスワードを入力すると、「正しいパスワードを入力してください。」というメッセージが表示されます。パスワードを入力しなおしてください。

プリンタのステータスの表示

システム画面

システム画面は、プリンタ内蔵の Web ページにアクセスしたときに最初に表示される画面です。この画面では、プリンタのステータス（状態）、現在のシステム構成、プリンタ名、他の設定画面へリンクされたタブやメニューが表示されます。

システム画面内の情報はすべて表示されるのみで、変更はできません。

概要（前ページ画面）

システム — 概要画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
プリンタ名／ステータス	プリンタ名と現在のステータスが表示されます。ステータスアイコンの横には、プリンタの操作パネルのメッセージウィンドウに表示されるのと同じメッセージが表示されます。 ステータス表示によって、プリンタから離れた場所からでもプリンタで発生している問題（用紙切れやトナー切れなど）を確認することができます。
デバイスの状態（プリンタの図）	アクセスしているプリンタのタイプを確認できます。プリンタの図は、装着されているオプションの状態が反映された表示になります。
メモリ	プリンタに装着されているメモリの量が表示されます。
ハードディスク	オプションのハードディスクがプリンタに装着されている場合は、ハードディスクのサイズが表示されます。 オプションのハードディスクがプリンタに装着されていない場合は、「0 M バイト」と表示されます。
両面プリントユニット	オプションの両面プリントユニットが装着されているかどうかが表示されます（インストール済、インストールなし）。
ネットワーク	プリンタに装備されているインターフェースが表示されます（イーサネット 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）。
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙ユニットを表示します。
排紙トレイ	プリンタに装着されている排紙トレイを表示します。

デバイス情報

システム — デバイス情報画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
システムのバージョン	コントローラファームウェアのバージョンが表示されます。
操作パネルの言語	プリンタ操作パネルの表示言語が表示されます。
仕向	プリンタの国別仕様が表示されます。
管理者名	プリンタの管理者名が表示されます。

詳細

給紙トレイ

システム — 詳細 — 給紙トレイ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	プリンタに装着されている給紙ユニット（トレイ1/2/3/4）が表示されます。
用紙サイズ	各トレイにセットされている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	各トレイにセットされている用紙の種類が表示されます。
用紙	各トレイにセットされている用紙の残り具合が表示されます（レディ、空）。
［詳細］ボタン	クリックすると、トレイの詳細が表示されます。

給紙トレイ（詳細）

システム — 詳細 — 給紙トレイ — 詳細画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
給紙トレイ	給紙トレイの名称が表示されます。
用紙サイズ	用紙サイズが表示されます。
用紙種類	用紙の種類が表示されます。
容量	給紙トレイの最大容量が表示されます。
用紙	用紙の残量が表示されます。
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。

排紙トレイ

システム — 詳細 — 排紙トレイ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
用紙	排紙トレイの状態（レディ、フル）が表示されます。

ハードディスク

システム — 詳細 — ハードディスク画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
合計	ハードディスクの合計容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、「-」が表示されます。
使用中	ハードディスクの使用容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、「-」が表示されます。
残り	ハードディスクの残り容量が表示されます。 ハードディスクが装着されていない場合は、「-」が表示されます。

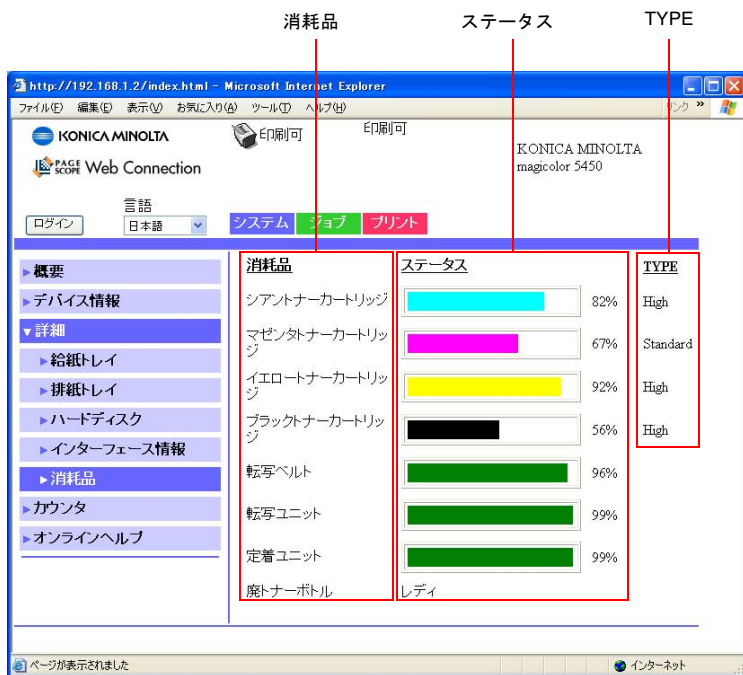
インターフェイス情報

システム — 詳細 — インターフェイス情報画面では、以下の情報を確認できます。

項目		説明
プロトコル情報	TCP/IP	TCP/IP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 TCP/IP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	IPP	IPP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 IPP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	NetWare	NetWare が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 NetWare が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	AppleTalk	AppleTalk が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 AppleTalk が無効になっている場合、「無効」が表示されます。

項目		説明
	SMTP	SMTP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 SMTP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	SNMP	SNMP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 SNMP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	FTP	FTP が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 FTP が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	SMB	SMB が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 SMB が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
	Bonjour	Bonjour が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 Bonjour が無効になっている場合、「無効」が表示されます。

項目		説明
ネットワーク情報	タイプ	プリンタに装着されているネットワークインターフェイスの種類が表示されます（イーサネット 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T）。
	Ethernet の速度	ネットワークの通信速度と双方向通信での通信方式の設定ができます。
	IP アドレス	イーサネットインターフェイスの IP アドレスが表示されます。
	MAC アドレス	イーサネットインターフェイスの MAC（Media Access Control）アドレスが表示されます。
	ホスト名	プリンタのホスト名が表示されます。
	プリントサーバ名（NetWare）	NetWare のプリントサーバ名が表示されます。
	ワークグループ名（Windows）	プリンタのドメイン名、ワークグループ名が表示されます。
	プリンタ名（Apple Talk）	AppleTalk のプリンタ名が表示されます。
	現在のゾーン名（AppleTalk）	AppleTalk のゾーン名が表示されます。
	Bonjour 名	プリンタの Bonjour 名を表示します。

消耗品

システム — 詳細 — 消耗品画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
消耗品	状況を確認できる消耗品が表示されます。
ステータス	各消耗品の残りの寿命が表示されます。 ■ トナーカートリッジ、転写ベルト、転写ユニット、定着ユニット：% 表示 ■ 廃トナーボトル：レディ、交換時期です、フル
TYPE	消耗品の種類が表示されます。 ■ Starter、Standard、High

カウンタ

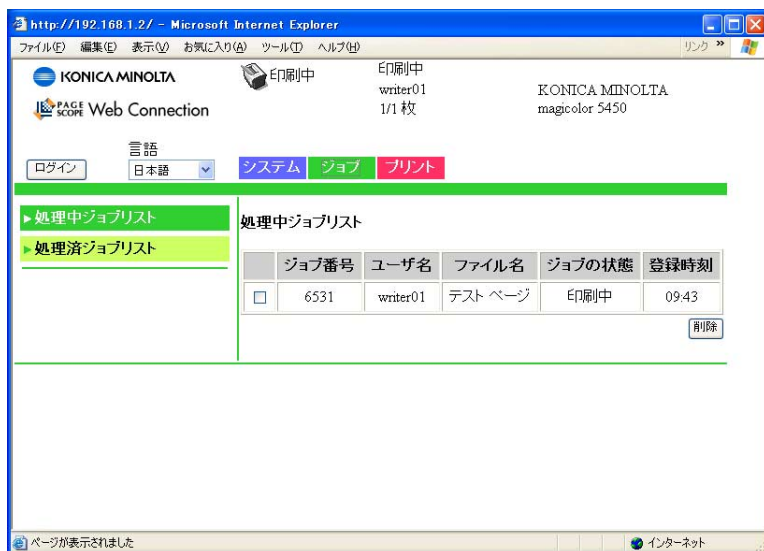
システム — カウンタ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
合計カウンタ	これまでに印刷した部数が表示されます。
詳細カウンタ	これまでに印刷した部数（合計、両面印刷）が表示されます。

オンラインヘルプ

システム — オンラインヘルプ画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
お問い合わせ	プリンタに関する問い合わせ先が表示されます。
お問い合わせ先情報	問い合わせ先の Web サイトの URL が表示されます。
製品ヘルプの URL	製品情報が載っている Web サイトの URL が表示されます。
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL が表示されます。
消耗品情報	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL が表示されます。
お問い合わせ先電話番号	プリンタ管理者の電話番号を表示します。
お問い合わせ住所	サポート先の E-mail アドレスを表示します。
ユーティリティへのリンク	プリンタ管理ユーティリティへのリンクを表示します。

ジョブ画面

この画面では、現在処理されているプリントジョブの状況を確認できます。

処理中ジョブリスト（上記画面）

ジョブ — 処理中ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の情報を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名を表示します。
ジョブの状態	プリントジョブの現在の状況（印刷中、受信中、Waiting、キャンセル）が表示されます。
登録時刻	ジョブの登録時刻を表示します。
［削除］ボタン	削除するプリントジョブのいちばん左側のチェックボックスをチェックして［削除］ボタンをクリックすると、そのプリントジョブが削除されます。

処理済ジョブリスト

ジョブ — 処理済ジョブリスト画面では、最大 49 個のプリントジョブの以下の情報を確認できます。

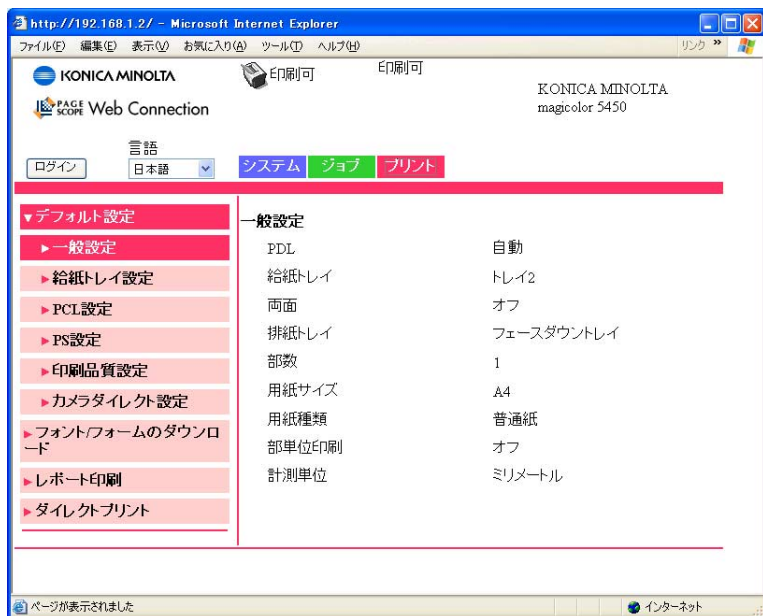
項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル）が表示されます。
［精細］ボタン	詳細画面が表示されます。

処理済ジョブリスト（詳細）

ジョブ — 処理済ジョブリスト（詳細）画面では、選択されたプリントジョブの以下の情報を確認できます。

項目	説明
ジョブ番号	プリントジョブの ID 番号が表示されます。プリンタに送られたすべてのプリントジョブには、固有の ID 番号が割り当てられます。
ユーザ名	プリントジョブの所有者がわかる場合は、所有者名が表示されます。
ファイル名	プリントファイル名が表示されます。
配信方法	ジョブの配信方法が表示されます。
登録時刻	ジョブを登録した時刻が表示されます。
終了時刻	印刷が終了した時刻が表示されます。
結果	プリントジョブの結果（OK、エラー、キャンセル）が表示されます。
［戻る］ボタン	前の画面に戻ります。

プリント画面

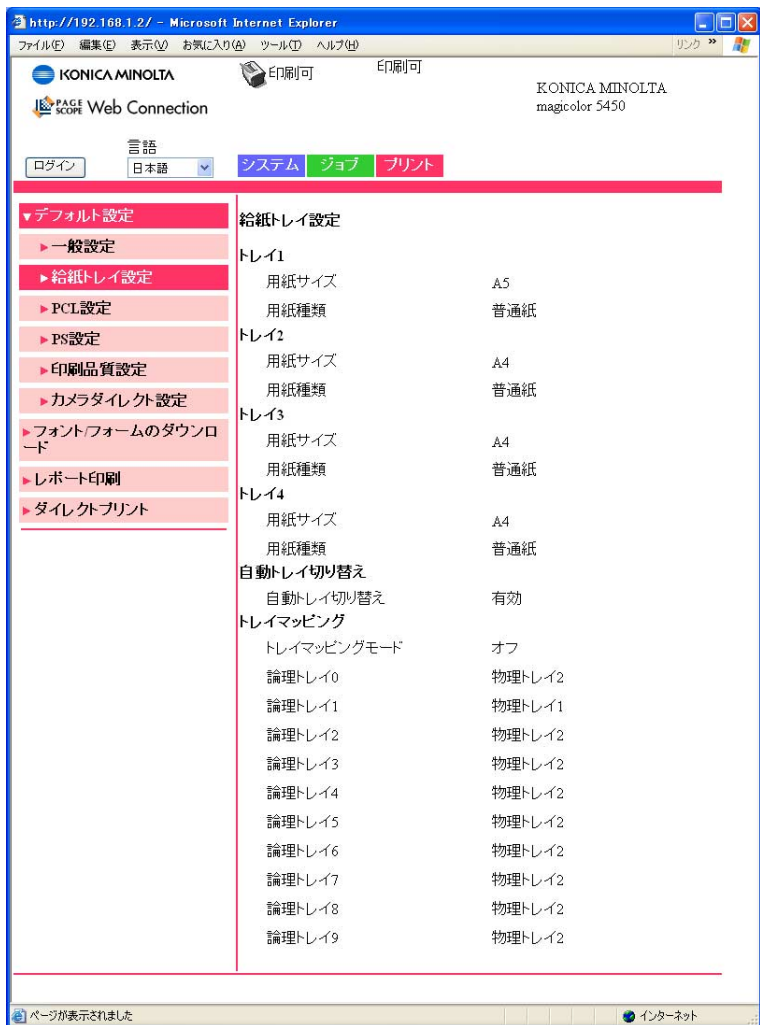
プリント画面では、PDL プリンタドライバを使わずに印刷する場合の設定値を確認することができます。

デフォルト設定

一般設定（上記画面）

プリント — デフォルト設定 — 一般設定画面では、以下の情報を確認できます。

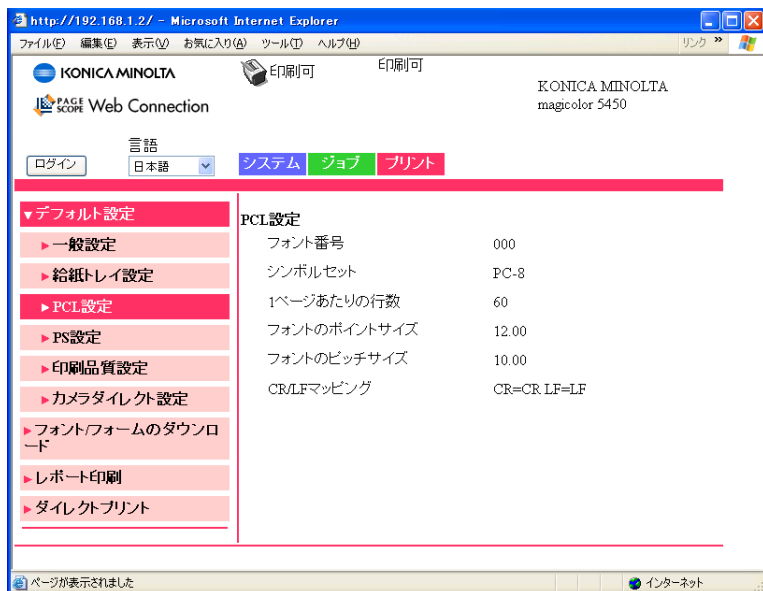
項目	説明
PDL	デフォルトとして選択されているプリンタ制御言語が表示されます。
給紙トレイ	通常使用される給紙トレイが表示されます。
両面	両面印刷ができない場合、「オフ」が表示されます。 「長辺綴じ」が表示されている場合、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴じ」が表示されている場合、短辺綴じで両面印刷されます。 この項目は、オプションの両面プリントユニットが装着されている場合のみ表示されます。

項目	説明
排紙トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
部数	デフォルトとして設定されている印刷部数が表示されます。
用紙サイズ	デフォルトとして設定されている用紙のサイズが表示されます。
用紙種類	デフォルトとして設定されている用紙の種類が表示されます。
部単位印刷	「オン」が表示されている場合、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 「オフ」が表示されている場合、文書は部単位で印刷されません。 この項目は、オプションのハードディスクが装着されている場合のみ表示されます。
計測単位	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）が表示されます。

給紙トレイ設定

プリント — デフォルト設定 — 給紙トレイ設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目		説明
トレイ 1	用紙サイズ	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 1 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。

項目		説明
トレイ 2	用紙サイズ	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 2 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。
トレイ 3 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 3 にセットする用紙のサイズを選択して設定します。
	用紙種類	トレイ 3 にセットする用紙の種類を選択して設定します。
トレイ 4 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 4 にセットするよう設定されている用紙のサイズを表示します。
	用紙種類	トレイ 4 にセットするよう設定されている用紙の種類を表示します。
自動トレイ切替え		「有効」が表示されていると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「無効」が表示されていると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。
トレイマッピング	トレイマッピングモード	トレイマッピング機能を使用するかしないかが表示されます。
	論理トレイ 0 〜 9	他社のプリンタドライバからプリントジョブを受信した時に、どの給紙トレイを使用して印刷するかが表示されます。

PCL 設定

プリント — デフォルト設定 — PCL 設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォント番号が表示されます。
シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットが表示されます。
1 ページあたりの行数	PCL 言語でのページごとの行数を選択します。
フォントのポイントサイズ	PCL 言語でのフォントのポイントサイズが表示されます。
フォントのピッチサイズ	PCL 言語でのフォントのピッチサイズが表示されます。
CR/LF マッピング	PCL 言語での改行コードの定義が表示されます。

PS 設定

プリント — デフォルト設定 — PS 設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
印刷待ちタイムアウト	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間が表示されます。 「0」が表示されている場合は、タイムアウトを行いません。
PS プロトコル	PS プロトコルの設定が表示されます。
PS エラーの印刷	エラープリントをするかどうかが表示されます。

印刷品質設定

プリント — デフォルト設定 — 印刷品質設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目		説明
印刷品質設定	カラーモード	「カラー」が表示されている場合は、フルカラーで印刷されます。 「モノクロ」が表示されている場合は、モノクロで印刷されます。

項目		説明
印刷品質設定	カラーセパレーション	色分解が有効な場合は、「オン」と表示されます。 色分解が無効な場合は、「オフ」と表示されます。
	明るさ調整	印刷する画像の明るさの設定が表示されます。
	コントラスト調整（PCL のみ）	印刷する画像のコントラストの設定が表示されます。
カラーマッチング設定	シミュレーションプロファイル（PS のみ）	印刷に使用するシミュレーションプロファイルが表示されます。
	シミュレーション特性（PS のみ）	印刷に使用するシミュレーション特性が表示されます。
	CMYK グレー再現	CMYK の 4 色で作成された黒色とグレイの再現方法が表示されます。
	出力プロファイル	印刷に使用される出力プロファイルが表示されます。
イメージ印刷	RGB ソース	RGB の画像データのカラースペースを表示します。
	RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を表示します。
	RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を表示します。
	スクリーン	中間色の再現性を表示します。 「高精細」が表示されている場合、高精密に中間色を再現します。 「詳細」が表示されている場合、詳細に中間色を再現します。 「スムーズ」が表示されている場合、スムーズに中間色を再現します。

項目		説明
テキスト印刷	RGB ソース	RGB のテキストデータのカラースペースを表示します。
	RGB 特性	RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換する時の特性を表示します。
	RGB グレー再現	RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を表示します。
	スクリーン	中間色の再現性を表示します。 「高精細」が表示されている場合、高精密に中間色を再現します。 「詳細」が表示されている場合、詳細に中間色を再現します。 「スムーズ」が表示されている場合、スムーズに中間色を再現します。
グラフィック印刷		グラフィックの色設定を表示します。
階調補正	濃度補正	「オン」が表示されている場合、画像調整を行います。 「オフ」が表示されている場合、画像調整を行いません。

カメラダイレクト設定

プリント — デフォルト設定 — カメラダイレクト設定画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
カメラダイレクト印刷	カメラダイレクト機能が有効になっている場合、「有効」が表示されます。 カメラダイレクト機能が無効になっている場合、「無効」が表示されます。
給紙トレイ	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイを表示します。 「トレイ 3」、「トレイ 4」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。
レイアウト	1 枚の用紙に印刷する画像の数を表示します。「1-up」が表示されている場合は、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。

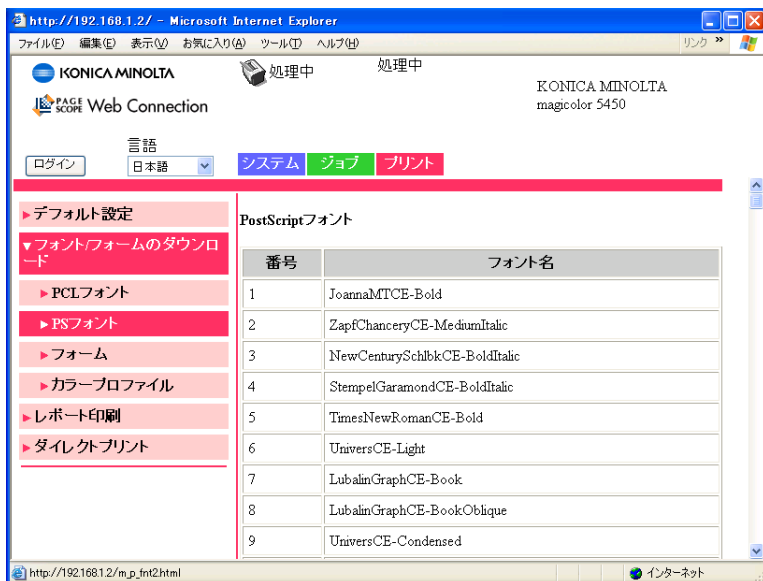
項目	説明
余白量	余白（印刷されない部分）の量を表示します。 「標準」が表示されていると、通常の用紙余白が設定されます。「ミニマム」が表示されていると、余白が縮小されます。
明るさ調整	印刷する画像の明るさの設定を表示します。
コントラスト調整	印刷する画像のコントラストの設定を表示します。
RGB ソース	RGB の画像データのカラースペースを表示します。 「デバイス色」が表示されている場合は、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。
RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を表示します。「鮮やか」が表示されている場合は、鮮やかな出力になります。「写真調」が表示されている場合は、より明るい出力になります。
RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を表示します。 「4 色（CMYK）トナー」が表示されている場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。 「全て黒（K）トナー」が表示されている場合は、黒色、グレイともにブラックのトナーを使用して再現します。 「黒のみ黒（K）トナー」が表示されている場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。
スクリーン	中間色の再現性を表示します。 「高精細」が表示されていると、高精密に中間色を再現します。 「精細」が表示されていると、詳細に中間色を再現します。 「スムーズ」が表示されていると、スムーズに中間色を再現します。

フォント / フォームのダウンロード

PCL フォント

プリント — フォント / フォームのダウンロード — PCL フォント画面では、プリンタが管理する PCL フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	フォントの管理番号が表示されます。
フォント名	フォント名称が表示されます。

PostScript フォント

プリント — フォント / フォームのダウンロード — PostScript フォント画面では、プリンタが管理する PostScript フォントの一覧を確認できます。

項目	説明
フォント番号	フォントの管理番号が表示されます。
フォント名	フォント名称が表示されます。

フォーム

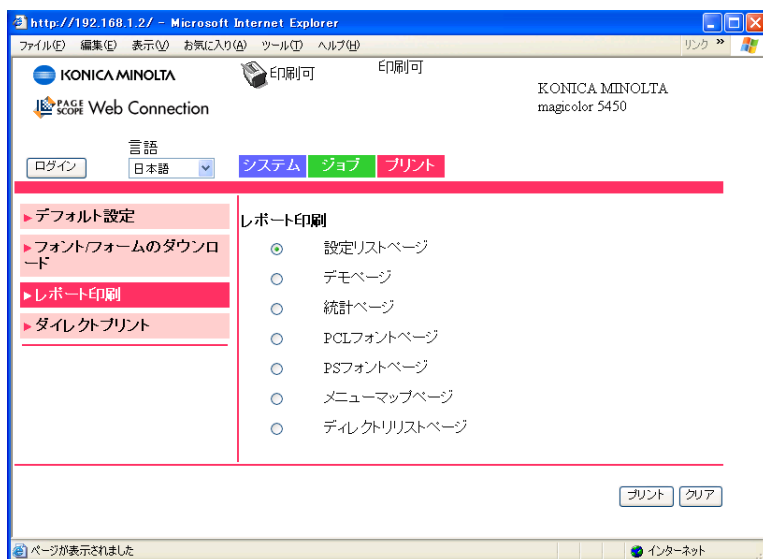
プリント — フォント / フォームのダウンロード — フォーム画面では、プリンタが管理するフォームの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	フォームの管理番号が表示されます。
ファイル名	フォームのファイル名が表示されます。

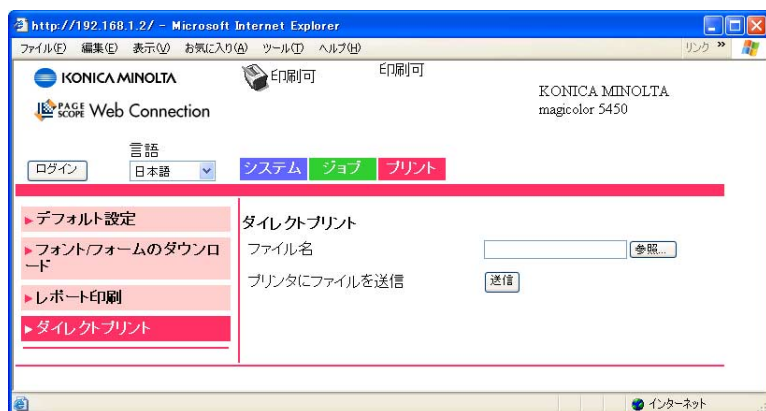
カラープロファイル

プリント — フォント / フォームのダウンロード — カラープロファイル画面では、プリンタが管理するカラープロファイルの一覧を確認できます。

項目	説明
番号	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
ファイル名	カラープロファイルのファイル名が表示されます。
プロファイル名	カラープロファイル名称が表示されます。
クラス	カラープロファイルの種類が表示されます。
色空間	カラープロファイルの色空間が表示されます。
有効	カラープロファイルが使用可能かどうかが表示されます。

レポート印刷

プリント — レポート印刷 画面では、以下の情報を確認できます。

項目	説明
設定リストページ	設定リストページを印刷します。
デモページ	デモページを印刷します。
統計ページ	印刷枚数などの統計ページを印刷します。
PCL フォントページ	PCL フォントの一覧を印刷します。
PS フォントページ	PostScript フォントの一覧を印刷します。
メニューマップページ	メニューマップを印刷します。
ディレクトリリストページ	ハードディスクのディレクトリの一覧を印刷します。 この項目は、オプションのハードディスクが装着されているときのみ表示されます。
[プリント] ボタン	選択したページを印刷します。
[クリア] ボタン	項目の選択を解除します。

ダイレクトプリント

プリント — ダイレクトプリント画面では、アプリケーションを起動せずに、直接プリンタからファイルを印刷できます。

ダイレクトプリントの機能を使用するには、プリンタにオプションのハードディスクが装着されている必要があります。

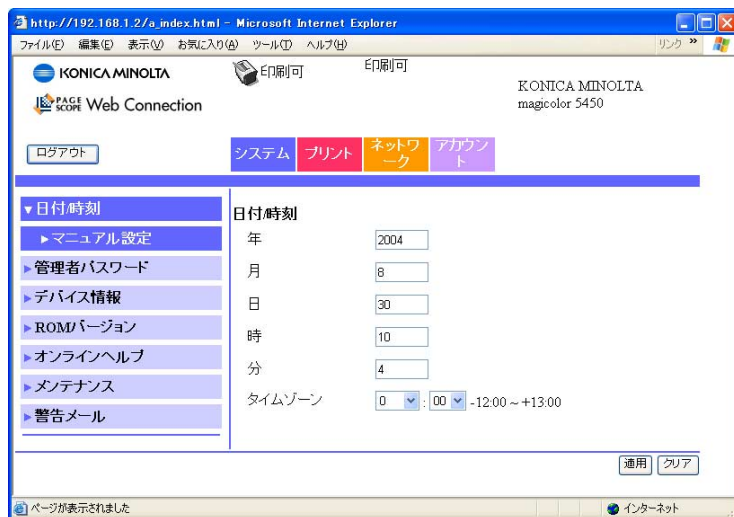
ダイレクトプリントでは、以下の形式のファイルを印刷できます。PDF、TIF、JPEG

項目	説明
ファイル名	印刷するファイルの場所を指定します。 ［参照］ボタンをクリックしてファイルを指定することもできます。
［参照］ボタン	クリックすると、印刷するファイルを参照するダイアログボックスを表示します。
［送信］ボタン	クリックすると、指定したファイルをプリンタへ転送します。

プリンタの設定

PageScope Web Connection を使用して設定変更を行うためには、まず管理者モードに入る必要があります。管理者モードにログインする方法については、「管理者モード」（p.121）を参照してください。

システム画面

システム画面では、ユーザ設定とプリンタに関する設定を行うことができます。

日付 / 時刻

マニュアル設定（前ページ画面）

システム — 日付 / 時刻 — マニュアル設定画面では、以下の項目を設定できます。

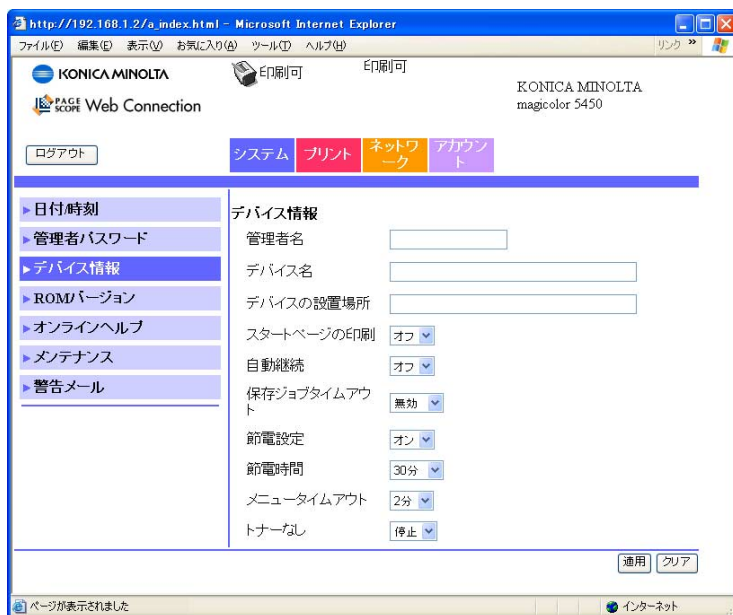
項目	説明
年	プリンタに内蔵されている時計の日付の、年を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 日付
月	プリンタに内蔵されている時計の日付の、月を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 日付
日	プリンタに内蔵されている時計の日付の、日を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 日付
時	プリンタに内蔵されている時計の時刻の、時間を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 時刻
分	プリンタに内蔵されている時計の日付の、分を設定します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ — 時計設定 — 時刻
タイムゾーン	E-mail 通知を行うときのタイムゾーンを設定します。

管理者パスワード

システム ― 管理者パスワード画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	管理者モードに入るための新しいパスワードを設定します。 初期値：（空白） パスワードは半角16文字までのアルファベット（大文字、小文字）および数字を使用して設定することができます。
パスワードの再入力	確認のため、「新しいパスワード」ボックスに入力したパスワードをもう一度入力します。 いずれかのテキストボックスに入力されたパスワードが異なる場合は、［適用］ボタンをクリックすると「正しいパスワードをもう一度入力してください。」というメッセージが表示されます。 ［OK］ボタンをクリックしてから、両方のテキストボックスにパスワードを入力しなおしてください。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

新しく設定したパスワードを忘れてしまったときは、プリンタの「ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ / ﾒﾆｭｰ設定初期化 / 全てのﾒﾆｭｰ」設定メニューでリセットして、パスワードを「空白」に戻してください。（ただし、他のすべてのネットワークの設定も工場出荷時の初期値に戻ります。）

デバイス情報

システム — デバイス情報画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
管理者名	プリンタの管理者名を設定します。 範囲：半角 255 文字以下 初期値：（空白）
デバイス名	プリンタ名を設定します。 範囲：半角 255 文字以下 初期値：（空白）
デバイスの設置場所	プリンタの設置場所を設定します。 範囲：半角 255 文字以下 初期値：（空白）
スタートページの印刷	プリンタの電源を入れたときにスタートページを印刷するかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｽﾀｰﾄｵﾌﾟｼｮﾝ — ｽﾀｰﾄ ﾍﾟｰｼﾞ

項目	説明
自動継続	プリントジョブの用紙サイズ・種類と、指定した給紙トレイのの用紙サイズ・種類が異なる場合に、印刷を継続するかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — 自動継続
保存ジョブタイムアウト	ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間の設定をします。 「無効」に設定した場合は時間によるプリントジョブの消去を行いません。 設定値：無効、1 時間、4 時間、1 日間、1 週間 初期値：無効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — 保存ｼﾞｮﾌﾞﾀｲﾑｱｳﾄ この項目は、オプションのハードディスクが装着されているときのみ表示されます。
節電設定	本プリンタを一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するかどうかを設定します。 「オン」に設定した場合は、節電モードへの移行を有効にします。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — 節電設定
節電時間	節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 本メニューは「節電設定」が「オン」になっている場合のみ表示されます。 設定値：5 分、15 分、30 分、1 時間、3 時間 初期値：30 分 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — 節電時間
メニュータイムアウト	メッセージウィンドウにメニュー、ヘルプ画面を表示した状態で何も操作が行なわれなかった場合に、ステータス画面に戻るまでの時間を設定します。 「オフ」に設定した場合は、ステータス画面に戻りません。 設定値：オフ、1 分、2 分 初期値：2 分 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ ﾀｲﾑｱｳﾄ

項目	説明
トナーなし	「停止」に設定した場合は、トナーが無くなった時に印刷を停止します。 「継続」に設定した場合は、トナーが無くなった時でも印刷を続行します。 設定値：停止、継続 初期値：停止 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ﾄﾅｰなし
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

ROM バージョン

システム — ROM バージョン画面では、以下の情報が確認できます。

項目	説明
エンジン ROM バージョン	プリンタエンジンの ROM バージョンが表示されます。
コントローラ ROM バージョン	プリンタコントローラの ROM バージョンが表示されます。
ブート ROM バージョン	ブート ROM のバージョンが表示されます。

オンラインヘルプ

システム — オンラインヘルプ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
お問い合わせ先名称	プリンタに関する問い合わせ先の担当者や組織の名前を設定します。 範囲：　半角 63 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ先情報	プリンタに関する問い合わせ先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
製品ヘルプの URL	プリンタの製品情報が載っている Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
コーポレート URL	KONICA MINOLTA の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）

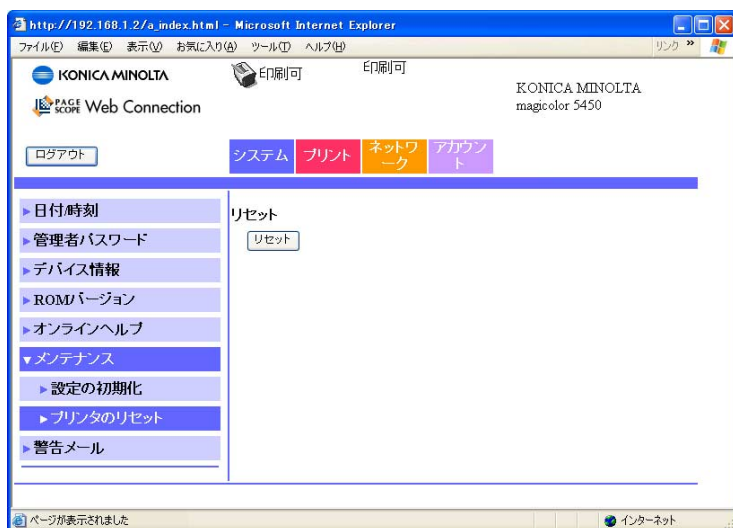
項目	説明
消耗品情報	消耗品とアクセサリ（付属品）の発注先の Web サイトの URL を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ先電話番号	プリンタ管理者の電話番号を設定します。 範囲：　半角 31 文字以下 初期値：（空白）
お問い合わせ住所	プリンタ管理者の住所を設定します。 範囲：　半角 320 文字以下 初期値：（空白）
ユーティリティへのリンク	プリンタ管理ユーティリティへのリンクを設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

メンテナンス

設定の初期化

システム — メンテナンス — 設定の初期化画面では、プリンタの設定を工場出荷時の値に戻すことができます。

項目	説明
プリンタ設定	プリンタの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — 用紙 / 品質 / ｼｽﾃﾑ
ネットワーク設定	ネットワークの設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — ﾈｯﾄﾜｰｸ
全ての設定	すべての設定を初期値に戻します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ﾒﾆｭｰ設定初期化 — 全てのﾒﾆｭｰ
［クリア］ボタン	クリックすると、「工場出荷時設定に戻しても良いですか？」というメッセージが表示されます。 ［OK］をクリックすると、プリンタが自動的に再起動し、設定を工場出荷時の値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

プリンタのリセット

システム — メンテナンス — プリンタのリセット画面では、プリンタコントローラをリセットすることができます。

項目	説明
［リセット］ボタン	クリックすると、「プリンタをリセットしても良いですか？」というメッセージが表示されます。 ［OK］をクリックすると、プリンタコントローラをリセットします。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

警告メール

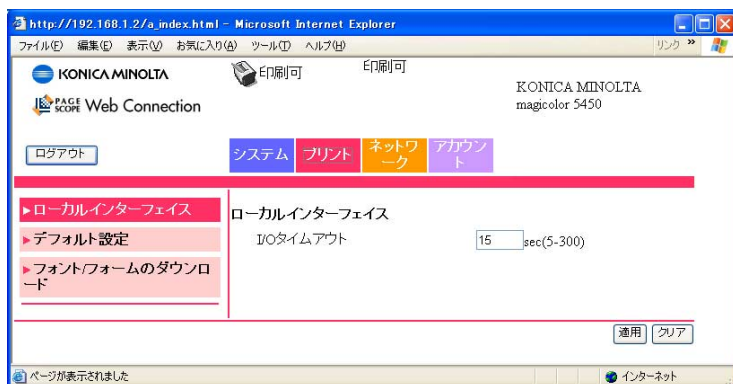
システム — 警告メール画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
警告メール	電子メール通知	プリンタに警告が発生した時に、メールで通知を行うかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	通知電子メールアドレス	通知を行うメールアドレスを設定します。 範囲：半角 320 文字以下 初期値：（空白）

項目		説明
警告	用紙なし	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	紙詰まり	紙詰まりを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	メンテナンス	定期点検時期を通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	トナーなし	トナーがないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	オペレータコール	オペレーターを呼ぶ必要があることを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	サービスコール	用紙がないことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	ジョブ完了	印刷ジョブが正常終了したことを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
	ジョブエラー	エラーが発生して印刷できなかったジョブがあることを通知するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

プリント

プリント画面では、より詳細なプリンタの設定を行うことができます。

ローカルインターフェイス

プリント — ローカルインターフェイス画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
I/O タイムアウト	受信タイムアウト（秒）を設定します。 範囲：5 ～ 300 初期値：15
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

デフォルト設定

一般設定

プリント — デフォルト設定 — 一般設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
PDL	デフォルトのプリンタ制御言語を選択できます。 設定値：自動、PCL、PS 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — 優先ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
給紙トレイ	通常使用される給紙トレイを選択します。 設定値： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 初期値： トレイ 2 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — 優先ﾄﾚｲ

項目	説明
両面	「オフ」を選択すると、両面印刷が無効になります。 「長辺綴じ」を選択すると、長辺綴じで両面印刷されます。 「短辺綴じ」を選択すると、短辺綴じで両面印刷されます。 設定値：オフ、短辺綴じ、長辺綴じ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 両面印刷 この項目は、オプションの両面プリントユニットが装着されている場合のみ表示されます。
排紙トレイ	排紙トレイの名称が表示されます。
部数	デフォルトの印刷部数を設定します。 範囲：1 〜 9999 初期値：1 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 印刷枚数
用紙サイズ	デフォルトの用紙のサイズを設定します。
幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の幅を設定します。 範囲：92 mm 〜 216 mm/3.65 インチ〜 8.50 インチ
長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の長さを設定します。 範囲：148 mm 〜 356 mm/5.85 インチ〜 14.00 インチ
用紙種類	デフォルトの用紙種類を選択します。 設定値：任意、普通紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、ラベル紙、OHP フィルム、封筒、ハガキ、レターヘッド、光沢紙 初期値：普通紙

項目	説明
部単位印刷	「オン」に設定すると、文書の全ページが 1 部印刷されてから次の 1 部が印刷されます。 「オフ」に設定すると、文書は部単位で印刷されません。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ ― 部単位印刷 この項目は、オプションのハードディスクが装着されている場合のみ表示されます。
計測単位	カスタム用紙のサイズを指定するときの単位（インチまたはミリメートル）を選択します。 設定値：インチ、ミリメートル 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ ― 計測単位
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

給紙トレイ設定

プリント — デフォルト設定 — 給紙トレイ設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
トレイ 1	用紙サイズ	トレイ 1 にセットする用紙のサイズを選択します。 初期値：A4 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — 用紙ｻｲｽﾞ

項目		説明
トレイ 1	幅	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の幅を設定します。 範囲：92 mm 〜 216 mm/3.65 インチ〜 8.50 インチ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ
	長さ	「用紙サイズ」を「カスタム」に設定している場合、用紙の長さを設定します。 範囲：148 mm 〜 356 mm/5.85 インチ〜 14.00 インチ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 1 にセットする用紙の種類を選択します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、ラベル紙、OHP フィルム、封筒、ハガキ、レターヘッド、光沢紙 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 1 — 用紙種類
トレイ 2	用紙サイズ	トレイ 2 にセットする用紙のサイズを選択します。 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 設定値： レター、A4 初期値： A4 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 2 — 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 2 にセットする用紙の種類を選択します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 2 — 用紙種類
トレイ 3 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 3 にセットした用紙のサイズを表示します。 設定値： レター、A4 初期値： A4 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 3 — 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 3 にセットする用紙の種類を選択します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 3 — 用紙種類

項目		説明
トレイ 4 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	用紙サイズ	トレイ 4 にセットした用紙のサイズを表示します。 設定値： レター、A4 初期値： A4 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 4 — 用紙ｻｲｽﾞ
	用紙種類	トレイ 4 にセットする用紙の種類を選択します。 設定値： 任意、普通紙、再生紙 初期値： 普通紙 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — ﾄﾚｲ 4 — 用紙種類
自動トレイ切替え	自動トレイ切替え	「有効」を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「無効」を設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。 設定値：有効、無効 初期値：有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 用紙ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ — 自動ﾄﾚｲ切替え
[適用] ボタン		この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
[ログアウト] ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

PCL 設定

プリント — デフォルト設定 — PCL 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
フォント番号	PCL 言語でのデフォルトのフォント番号を設定します。 範囲：0 ～ 102 初期値：0
シンボルセット	PCL 言語で使用するシンボルセットが表示されます。 初期値：PC-8
1 ページあたりの行数	PCL 言語でのページごとの行数を選択します。 範囲：5 ～ 128 初期値：60 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫｰﾑﾗｲﾝ

項目	説明
フォントのポイントサイズ	PCL 言語でのフォントのポイントサイズを設定します。 範囲：4.00 〜 999.75 初期値：12.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫﾝﾄｿｰｽ — ﾎﾟｲﾝﾄｻｲｽﾞ
フォントのピッチサイズ	PCL 言語でのフォントのピッチサイズを設定します。 範囲：0.44 〜 99.99 初期値：10.00 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — ﾌｫﾝﾄｿｰｽ — ﾋﾟｯﾁｻｲｽﾞ
CR/LF マッピング	PCL 言語での改行コードの定義を選択します。 設定値：CR=CR LF=LF、CR=CRLF LF=LF、CR=CR LF=LFCR、CR=CRLF LF=LFCR 初期値：CR=CR LF=LF 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — PCL — 改行ｺｰﾄﾞ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

PS 設定

プリント — デフォルト設定 — PS 設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
印刷待ちタイムアウト	ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。 「0」を設定した場合は、タイムアウトを行いません。 範囲：0 ～ 300（秒） 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — ｳｪｲﾄﾀｲﾑｱｳﾄ
PS プロトコル	PS プロトコルを設定します。 設定値：自動、標準、バイナリ 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ

項目	説明
PS エラーの印刷	エラープリントをするかどうかを設定します。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ — ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ — ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ — PS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

印刷品質設定

プリント／デフォルト設定／印刷品質設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
印刷品質設定	カラーモード	「カラー」を選択すると、フルカラーで印刷されます。 「モノクロ」を選択すると、モノクロで印刷されます。 設定値：カラー、モノクロ 初期値：カラー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ
	カラーセパレーション	「オン」に設定すると、色分解を有効にします。 「オフ」に設定すると、色分解を無効にします。 設定値：オン、オフ 初期値：オフ 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — ｶﾗｰｾﾊﾟﾚｰｼｮﾝ
	明るさ調整	印刷する画像の明るさを設定します。 設定値：+15%、+10%、+5%、0、-5%、-10%、-15% 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — 明るさ調整
	コントラスト調整（PCL のみ）	印刷する画像のコントラストを設定します。 設定値：+15%、+10%、+5%、0、-5%、-10%、-15% 初期値：0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： 品質ﾒﾆｭｰ — PCL ｺﾝﾄﾗｽﾄ

項目		説明
PS プロファイル	シミュレーションプロファイル（PS のみ）	印刷に使用するシミュレーションプロファイルを選択します。 設定値：なし、SWOP、Euroscale、CmmercialPress、TOYO、DIC 初期値：なし 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ — ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ
	シミュレーション特性（PS のみ）	印刷に使用するシミュレーション特性を設定します。 設定値：相対色、絶対色 初期値：相対色 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ — ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ特性
	CMYK グレー再現	CMYK の 4 色で作成された黒色とグレイの再現方法を選択します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ — CMYK ｸﾞﾚｲ再現
	出力プロファイル	印刷に使用される出力プロファイルを設定します。 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — PS ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ — 出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ

項目		説明
イメージ印刷	RGB ソース	RGB の画像データのカラースペースを設定します。 設定値： デバイス色、ｓRGB、AppleRGB、AppleRGB1998、AdobeRGB1998、ColorMatchRGB、BlueAdjustRGB 初期値：sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ ― ｲﾒｰｼﾞ印刷 ― RGB ｿｰｽ
	RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 設定値：鮮やか、写真調、相対色、絶対色 初期値：写真調 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ ― ｲﾒｰｼﾞ印刷 ― RGB 特性
	RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を設定します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ ― ｲﾒｰｼﾞ印刷 ― ｸﾞﾚｰ再現
	スクリーン	中間色の再現性を設定します。 「高精細」を選択すると、高精密に中間色を再現します。 「詳細」を選択すると、詳細に中間色を再現します。 「スムーズ」を選択すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値：高精細、詳細、スムーズ 初期値：詳細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ ― ｲﾒｰｼﾞ印刷 ― ｽｸﾘｰﾝ

項目		説明
テキスト印刷	RGB ソース	RGB のテキストデータのカラースペースを設定します。 設定値： デバイス色、ｓRGB、AppleRGB、AppleRGB1998、AdobeRGB1998、ColorMatchRGB、BlueAdjustRGB 初期値：sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ﾃｷｽﾄ印刷 — RGB ｿｰｽ
	RGB 特性	RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 設定値：鮮やか、写真調、相対色、絶対色 初期値：鮮やか 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ﾃｷｽﾄ印刷 — RGB 特性
	RGB グレー再現	RGB のテキストデータの黒色とグレイの再現方法を設定します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：全て黒（K）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ﾃｷｽﾄ印刷 — ｸﾞﾚｰ再現
	スクリーン	中間色の再現性を設定します。 「高精細」を選択すると、高精密に中間色を再現します。 「詳細」を選択すると、詳細に中間色を再現します。 「スムーズ」を選択すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値：高精細、詳細、スムーズ 初期値：高精細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ﾃｷｽﾄ印刷 — ｽｸﾘｰﾝ
グラフィック印刷		グラフィックの色設定を選択します。 設定値：イメージにあわせる、テキストにあわせる 初期値：イメージにあわせる 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷

項目		説明
階調補正	濃度補正	「オン」を選択すると、画像調整を行います。 「オフ」を選択すると、画像調整を行いません。 設定値：オン、オフ 初期値：オン 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：品質ﾒﾆｭｰ — 階調補正 — 濃度補正
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

カメラダイレクト設定

プリント — デフォルト設定 — カメラダイレクト設定画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
カメラダイレクト印刷	カメラダイレクト機能を有効にするかどうかを選択します。 設定値： 有効、無効 初期値； 有効
給紙トレイ	カメラダイレクト印刷で使用する給紙トレイを選択します。 設定値： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 初期値： トレイ 2 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — 給紙ﾄﾚｲ 「トレイ 3」、「トレイ 4」はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
レイアウト	1 枚の用紙に印刷する画像の数を設定します。 「1-up」に設定した場合は、1 枚の用紙に一つの画像が印刷されます。 設定値： 1-up、2-up、3-up、4-up、6-up、8-up 初期値： 1-up 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ﾚｲｱｳﾄ
余白量	余白（印刷されない部分）の量を設定します。 「標準」に設定すると、通常の用紙余白が設定されます。 「ミニマム」に設定すると、余白が縮小されます。 設定値： 標準、ミニマム 初期値： 標準 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — 余白量
明るさ調整	印刷する画像の明るさを調節します。 設定値： -15%、-10%、-5%、0、+5%、+10%、+15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — 明るさ調整
コントラスト調整	印刷する画像のコントラストを調節します。 設定値： -15%、-10%、-5%、0、+5%、+10%、+15% 初期値： 0 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — ｺﾝﾄﾗｽﾄ
RGB ソース	RGB の画像データのカラースペースを設定します。 「Device Color」を選択した場合は、本プリンタのデバイスプロファイルを使用します。 設定値： デバイス色、sRGB 初期値： sRGB 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — RGB ｿｰｽ
RGB 特性	RGB の画像データを CMYK のデータに変換する時の特性を設定します。 「鮮やか」を選択した場合は、鮮やかな出力になります。 「写真調」を選択した場合は、より明るい出力になります。 設定値： 鮮やか、写真調 初期値： 写真調 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ 品質 — RGB 特性

項目	説明
RGB グレー再現	RGB の画像データの黒色とグレイの再現方法を設定します。「4 色（CMYK）トナー」を選択した場合は、CMYK のトナーを使用して再現します。「全て黒（K）トナー」を選択した場合は、黒色、グレイともにブラックのトナーを使用して再現します。「黒のみ黒（K）トナー」を選択した場合は、黒色のみブラックのトナーを使用して再現します。 設定値：4 色（CMYK）トナー、全て黒（K）トナー、黒のみ黒（K）トナー 初期値：4 色（CMYK）トナー 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ品質 — ｸﾞﾚｰ再現
スクリーン	中間色の再現性を設定します。 「高精細」に設定すると、高精密に中間色を再現します。「精細」に設定すると、詳細に中間色を再現します。「スムーズ」に設定すると、スムーズに中間色を再現します。 設定値：高精細、精細、スムーズ 初期値：精細 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｶﾒﾗ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾒﾆｭｰ — ｲﾒｰｼﾞ品質 — ｽｸﾘｰﾝ
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

フォント / フォームのダウンロード

PS フォント

PS フォント画面の項目を利用するには、オプションのハードディスクがプリンタに装着されている必要があります。

プリント — デフォルト設定 — フォント / フォームのダウンロード — PS フォント画面では、以下の項目を設定できます。

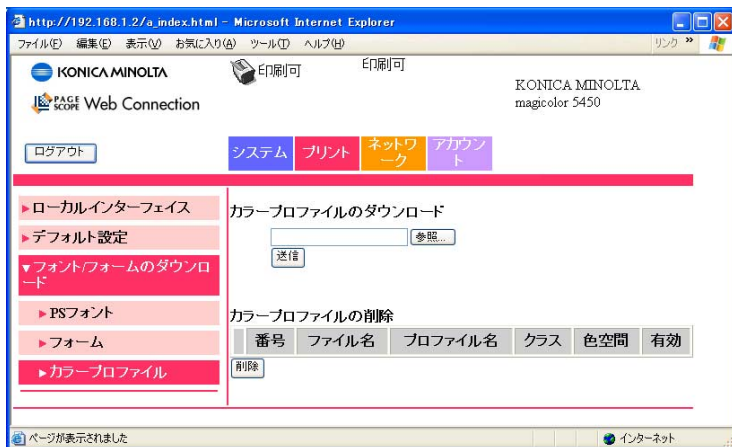
項目		説明
PS フォントのダウンロード	テキストボックス	ダウンロードする PostScript フォントのファイル名を指定します。
	［参照］ボタン	クリックすると、PostScript フォントファイルを参照するダイアログを表示します。
	［送信］ボタン	指定した PostScript フォントファイルを、プリンタに送信します。
PS フォントの削除	チェックボックス	削除したいフォントのチェックボックスを選択して［削除］をクリックすると、そのフォントがプリンタから削除されます。
	番号	フォントの管理番号が表示されます。
	フォント名	フォント名称が表示されます。
[削除] ボタン		削除する PostScript フォントのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、その PostScript フォントが削除されます。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

フォーム

プリント — デフォルト設定 — フォント / フォームのダウンロード — フォーム画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
フォームのダウンロード	テキストボックス	ダウンロードするフォームのファイル名を指定します。
	［参照］ボタン	クリックすると、フォームのファイルを参照するダイアログを表示します。
	［送信］ボタン	指定したフォームのファイルを、プリンタに送信します。
フォームの削除	チェックボックス	削除したいフォームのファイルのチェックボックスを選択して［削除］をクリックすると、そのフォームがプリンタから削除されます。
	番号	フォームの管理番号が表示されます。
	ファイル名	フォームのファイル名が表示されます。
[削除] ボタン		削除するフォームのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのフォームが削除されます。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

プリンタにダウンロードされるフォームとカラープロファイルのファイル名は、8.3 形式（MS-DOS 形式）に準拠したものを指定してください。
ロングファイル名を指定した場合、ダウンロード自体は行われますが、プリンタドライバとダウンロードマネージャからは、正しく参照することができません。ご注意ください。

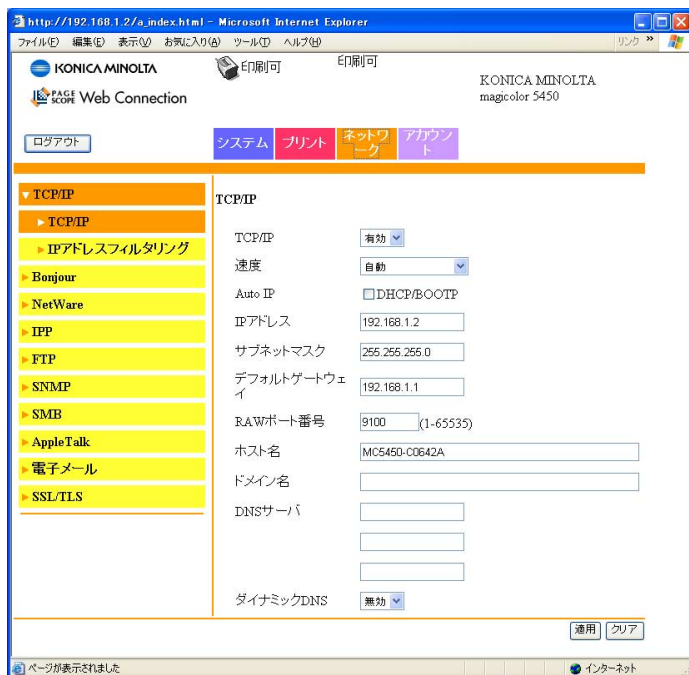
カラープロファイル

フォント / フォームのダウンロード／カラープロファイル画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
カラープロファイルのダウンロード	テキストボックス	ダウンロードするカラープロファイルのファイル名を指定します。
	［参照］ボタン	クリックすると、カラープロファイルのファイルを参照するダイアログを表示します。
	［送信］ボタン	指定したカラープロファイルのファイルを、プリンタに送信します。
カラープロファイルの削除	チェックボックス	削除したいカラープロファイルのファイルのチェックボックスを選択して［削除］をクリックすると、そのカラープロファイルがプリンタから削除されます。
	番号	カラープロファイルの管理番号が表示されます。
	ファイル名	カラープロファイルのファイル名が表示されます。

項目	説明
[削除] ボタン	削除するカラープロファイルのいちばん左側のチェックボックスをチェックして [削除] ボタンをクリックすると、そのカラープロファイルが削除されます。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

プリンタにダウンロードされるフォームとカラープロファイルのファイル名は、8.3 形式（MS-DOS 形式）に準拠したものを指定してください。
ロングファイル名を指定した場合、ダウンロード自体は行われますが、プリンタドライバとダウンロードマネージャからは、正しく参照することができません。ご注意ください。

ネットワーク画面

ネットワーク画面では、ネットワークの設定を行うことができます。これらのプロトコルの詳細については、第 6 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

TCP/IP

TCP/IP（上記画面）

ネットワーク — TCP/IP — TCP/IP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
TCP/IP	TCP/IP を有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー : ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — 有効

項目	説明
速度	イーサネットの動作モードと速度を設定します。 設定値：自動、10BASE FULL、10BASE HALF、100BASE FULL、100BASE HALF、1000BASE FULL 初期値：自動 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — SPEED/DUPLEX
Auto IP	プリンタの IP アドレスの自動割り当て方法を設定します。 設定値：DHCP/BOOTP 初期値：（選択ずみ） 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — DHCP/BOOTP
IP アドレス *	プリンタの IP アドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：000.000.000.000 範囲外の数値の IP アドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — IP ｱﾄﾞﾚｽ
サブネットマスク *	プリンタのサブネットマスクアドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：255.255.000.000 範囲外の数値のサブネットマスクアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
デフォルト ゲートウェイ *	ネットワークでルータを使用している場合は、ルータのアドレスを設定します。 範囲：　各 3 桁の数値が 0 ～ 255 初期値：000.000.000.000 範囲外の数値のルータのアドレスが入力された場合は、［適用］ボタンをクリックしても変更が適用されません。以前の数値にもどります。 同機能のプリンタ操作パネルの設定メニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ — ｲｰｻﾈｯﾄ — TCP/IP — ｹﾞｰﾄｳｪｲ

項目	説明
RAW ポート番号	プリンタの TCP/IP ポートの RAW ポート番号が表示されます。 設定値：1-65535 初期値：9100
ホスト名	ホスト名を設定します。 初期値：magicolor5450
ドメイン名	ドメイン名を設定します。 初期値：（空白）
DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。最大 3 つまで登録できます。 初期値：0.0.0.0
ダイナミック DNS	ダイナミック DNS を使用するかどうか選択します。 設定値：有効、無効 初期値：無効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。
* これらのアドレスを入力するときは、各 3 桁中の上位桁の 0 を入れずに入力してください。例えば、131.011.010.001 の場合は 131.11.10.1 として入力します。	

IP アドレスフィルタリング

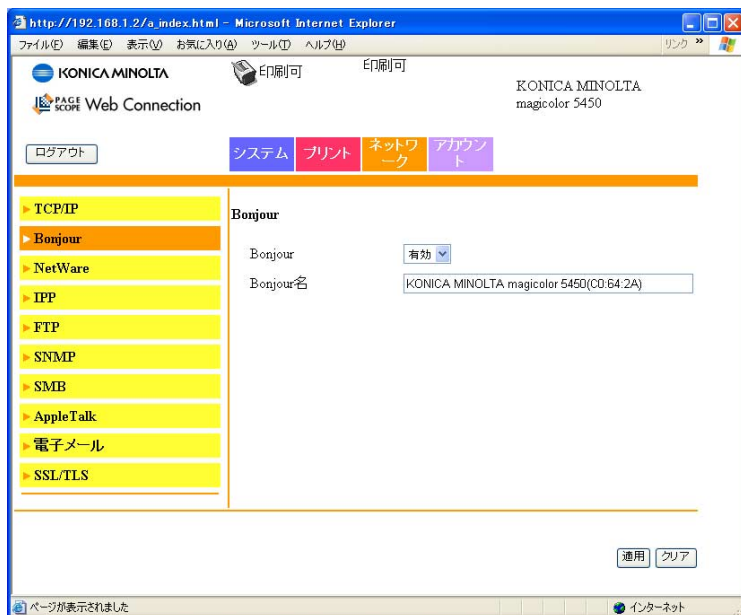
ネットワーク － TCP/IP － IP アドレスフィルタリング画面では、IP アドレスを指定して、プリンタへのアクセスを制限します。

以下の設定は、DNS サーバおよび DHCP サーバへの通信には適用されません。

許可アドレスで許可した IP アドレスの範囲が、拒否アドレスで拒否した IP アドレス範囲と重複した場合は、拒否アドレスの拒否設定が優先されます。

項目	説明
許可アドレス	有効を選択すると、プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定できます。 許可する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。また、指定した範囲以外の IP アドレスからのアクセスは拒否されます。 無効を選択すると、アクセス許可設定は無効になります。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 無効

項目	説明
アクセスを許可する IP アドレス範囲	プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。
拒否アドレス	有効を選択すると、プリンタへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定できます。 拒否する IP アドレスの範囲は、5 つまで指定できます。 無効を選択すると、アクセス拒否設定は無効になります。 設定値： 有効、無効 初期値： 無効
アクセスを拒否する IP アドレス範囲	プリンタへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を指定します。左のテキストボックスに開始 IP アドレスを、右のテキストボックスに終了 IP アドレスを入力します。 範囲： 各 3 桁の数値が 0~225 初期値： 0.0.0.0 単独の IP アドレスを指定する場合には、開始 IP アドレスと終了 IP アドレスとに同じ IP アドレスを入力するか、開始 IP アドレスもしくは終了 IP アドレスに 0.0.0.0 を入力します。 終了IPアドレスよりも開始IPアドレスの方が値が大きい場合、設定は反映されません。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
[ログアウト] ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

Bonjour

ネットワーク ― Bonjour 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
Bonjour	Bonjour 機能を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
Bonjour 名	プリンタの Bonjour 名を設定します。 範囲： 半角 63 文字以下 初期値：KONICA MINOLTA magicolor 5450(xx:xx:xx) xx:xx:xx には、MAC アドレスの後半 6 桁が 16 進数で表示されます。
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
[ログアウト] ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

NetWare

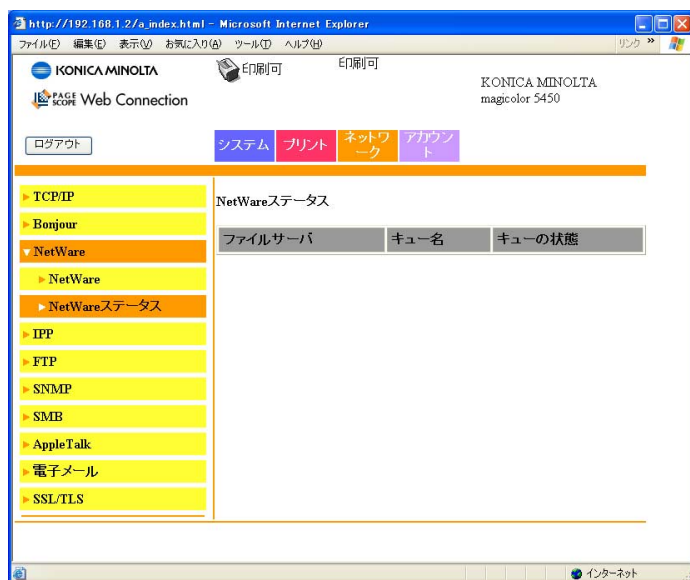
NetWare

ネットワーク — NetWare — NetWare 画面では、以下の項目を設定できます。

項目		説明
NetWare	NetWare 印刷	NetWare を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー：ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — NETWARE
	フレームタイプ	フレームタイプを選択します。 設定値：自動、Ethernet802.2、Ethernet 802.3、Ethernet II、Ethernet SNAP 初期値：自動

項目		説明
NetWare	モード	NetWare の設定モードを選択します。 設定値：無効、PServer、NPrinter/RPrinter 初期値：PServer
PServer	プリントサーバ名	プリンタのプリントサーバ名を設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：（空白）
	プリントサーバーパスワード	プリントサーバのパスワードを設定します。 範囲：半角 31 文字以下 初期値：（空白）
	パスワードの再入力	プリントサーバーパスワードテキストボックスに入力された、新しいパスワードを確認します。 範囲：半角 31 文字以下 初期値：（空白）
	プリントキュー取得間隔	キュースキャン間隔を設定します。 範囲：1 ～ 65535（秒） 初期値：1
	バインダリ / NDS	バインダリの設定を行います。 設定値：NDS、バインダリ /NDS、バインダリ 初期値：NDS
	優先ファイルサーバ	プリンタの優先ファイルサーバを設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS コンテキスト名	プリンタの優先 NDS コンテキストを設定します。 範囲：半角 191 文字以下 初期値：（空白）
	優先 NDS ツリー名	プリンタの優先 NDS ツリーを設定します。 範囲：半角 191 文字以下 初期値：（空白）

項目		説明
Nprinter/ Rprinter	プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：半角 47 文字以下 初期値：（空白）
	プリンタ番号	プリンタ番号を設定します。 範囲：0 ～ 255 初期値：255
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

NetWare ステータス

ネットワーク — NetWare — NetWare ステータス画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
ファイルサーバ	NetWare のファイルサーバを表示します。
キュー名	NetWare のキュー名を表示します。
キューの状態	NetWare のキューの状態を表示します。

項目	説明
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

IPP

ネットワーク — IPP 画面では以下の項目を設定できます。IPP の詳細については、第 6 章 “ ネットワーク印刷 ” を参照してください。

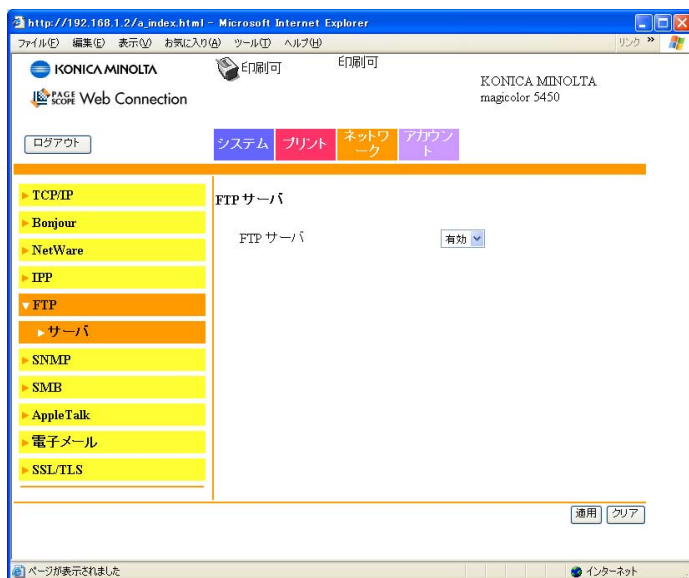
設定を有効にするためには、設定後にプリンタを再起動してください。

項目	説明
IPP 印刷	IPP を有効にするかどうかを選択します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効
IPP ジョブの受信	IPP ジョブの受信を有効にするかどうかを選択します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効

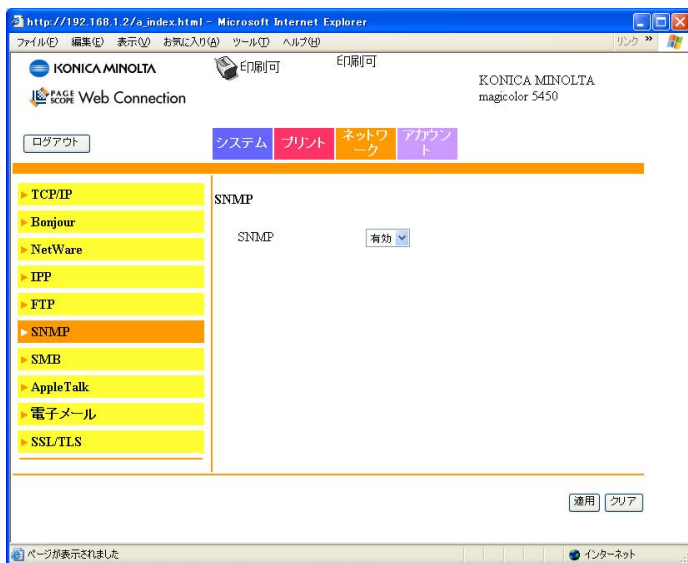
項目	説明
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
プリンタの場所	プリンタが設置してある場所を入力します。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
プリンタの情報	プリンタの情報が表示されます。 範囲：　半角 127 文字以下 初期値：（空白）
プリンタ URI	プリンタの URI、認証、セキュリティが表示されます。 範囲：　設定不可 初期値： – http://IP アドレス /ipp 要求されたユーザ名　なし – http://IP アドレス :80/ipp 要求されたユーザ名　なし – ipp://IP アドレス :80/ipp 要求されたユーザ名　なし – ipp://IP アドレス /ipp 要求されたユーザ名　なし – http://IP アドレス :631/ipp 要求されたユーザ名　なし – ipp://IP アドレス :631/ipp 要求されたユーザ名　なし – https://IP アドレス /ipp 要求されたユーザ名　なし – http://IP アドレス :443/ipp 要求されたユーザ名　なし – https://IP アドレス :443/ipp 要求されたユーザ名　なし "http://IP アドレス :443/ipp" および "https://IP アドレス :443/ipp" は、SSL/TLS 設定が有効な場合にのみ表示されます。

項目		説明
サポートする操作	ジョブのプリント	この項目をチェックすると、ジョブがプリントできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの確認	この項目をチェックすると、プリントジョブを確認できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブのキャンセル	この項目をチェックすると、ジョブをキャンセルできるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブ属性の取得	この項目をチェックすると、ジョブの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	ジョブの取得	この項目をチェックすると、ジョブを取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
	プリンタ属性の取得	この項目をチェックすると、プリンタの属性を取得できるようになります。 初期値：（チェック済み）
［適用］ボタン		この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン		この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

FTP

サーバ

ネットワーク — FTP — サーバ画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
FTP サーバ	FTP サーバを有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SNMP

ネットワーク — SNMP 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
SNMP	SNMP を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SMB

プリント

ネットワーク — SMB — プリント画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
SMB 印刷	SMB 印刷を有効にするかどうかを選択します。 設定値 : 有効、無効 初期値 : 有効
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名を設定します。 範囲 : 半角 15 文字以下 初期値 : magicolor5450
プリントサービス名	プリントサービスの名前を設定します。 範囲 : 半角 12 文字以下 初期値 : MC5450
ワークグループ	ワークグループ名を設定します。 範囲 : 半角 15 文字以下 初期値 : WORKGROUP
[適用] ボタン	この画面で行った設定を適用します。
[クリア] ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
[ログアウト] ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

AppleTalk

ネットワーク — AppleTalk 画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
AppleTalk	AppleTalk を有効にするかどうかを選択します。 設定値：有効、無効 初期値：有効 同機能のプリンタ操作パネルのメニュー： ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ ﾒﾆｭｰ — ｲｰｻﾈｯﾄ — APPLETALK
プリンタ名	プリンタ名を設定します。 範囲：半角 31 文字以下 初期値：magicolor5450
ゾーン名	ゾーン名を設定します。 範囲：半角 31 文字以下 初期値：*
現在のゾーン名	現在設定されているゾーン名を表示します。
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

電子メール

電子メールの送信

ネットワーク — 電子メール — 電子メールの送信画面では、以下の項目を設定できます。

項目	説明
送信	「有効」を選択すると、電子メールの送信が有効になります。 設定値：有効、無効 初期値：有効
SMTP サーバアドレス	メール送信サーバのアドレスを設定します。 範囲：半角 255 文字以下 初期値：0.0.0.0
ポート番号	メール送信サーバのポート番号を設定します。 範囲：1 ～ 65535 初期値：25
接続タイムアウト	メール送信時の接続タイムアウト時間を設定します。 範囲：30 ～ 300（秒） 初期値：60
［適用］ボタン	この画面で行った設定を適用します。

項目	説明
［クリア］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SSL/TLS 情報

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TSL 情報画面では、SSL/TLS の設定を行うことができます。

SSL/TLS は、デフォルトではインストールされていません。［設定］ボタンをクリックすると、証明書を自己作成して SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
［設定］ボタン	クリックすると、SSL/TLS 設定画面が表示されます。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SSL/TLS 設定

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 設定画面では、次に表示する SSL/TLS の設定画面を選択します。

項目	説明
証明書の自己作成	証明書を自己作成します。
証明書の要求	証明書発行を認証局に要求するためのデータを作成します。
証明書のインストール	認証局が発行した証明書をインストールします。
SSL/TLS 暗号化強度の設定	暗号化の強度を設定できます。また、SSL/TLS を無効に設定することもできます。 証明書がインストールされていない場合、この項目は表示されません。
証明書の破棄	証明書を破棄します。 証明書がインストールされていない場合、この項目は表示されません。

項目	説明
SSL/TLS で通信するモード	SSL で通信するモードを設定します。 証明書がインストールされていない場合、この項目は表示されません。
［次へ］ボタン	クリックすると、選択した画面が表示されます。
［キャンセル］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

自己作成証明書の設定

ネットワーク — SSL/TLS — 自己作成証明書の作成画面では、証明書を自己発行して、SSL の設定を行うことができます。

項目	説明
Common Name	SSL 証明書の作成に使用する、プリンタのコモンネームが表示されます。コモンネームは「プリンタのホスト名 .DNS サーバ名」で構成されています。DNS サーバが利用できない場合には、コモンネームにはプリンタのホスト名のみが使用されます。 この文字列は変更できません。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
Locality	市町村名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
Country	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：半角 2 文字以下 初期値：（空白）
電子メールアドレス	電子メールのアドレスを指定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
有効期間開始日	現在時刻が表示されます。
有効期間	有効期間を設定します。 範囲：1 ～ 3650（日） 初期値：（空白）
暗号化の強度	暗号の強度を選択します。 設定値： – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits,RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［作成］ボタン	クリックすると、自己証明書を作成します。 証明書を作成するために数分かかります。
［戻る］ボタン	ネットワーク — SSL/TSL — SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書の要求

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、以下の項目が設定できます。

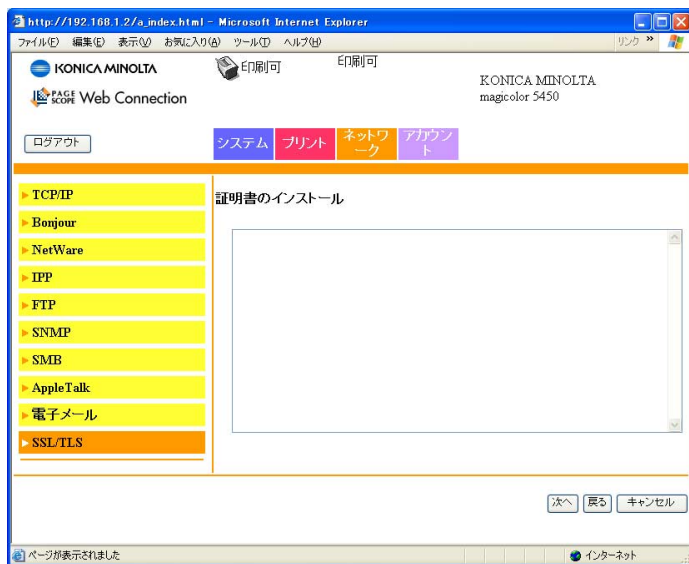
項目	説明
Common Name	SSL 証明書の作成に使用する、プリンタのコモンネームが表示されます。コモンネームは「プリンタのホスト名 .DNS サーバ名」で構成されています。DNS サーバが利用できない場合には、コモンネームにはプリンタのホスト名のみが使用されます。 この文字列は変更できません。
Organization	組織名または団体名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Organization Unit	部署名を設定します。 範囲：半角 63 文字以下 初期値：（空白）
Locality	市町村名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）

項目	説明
State/Province	州名または県名を設定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
Country	国名を、ISO03166 で規定されている国コードで設定します。 範囲：半角 2 文字以下 初期値：（空白）
電子メールアドレス	電子メールのアドレスを指定します。 範囲：半角 127 文字以下 初期値：（空白）
［次へ］ボタン	クリックすると、証明書発行のための要求データを作成します。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク／ SSL/TSL ／ SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	この画面で行ったすべての設定変更をリセットして前回の設定値に戻します。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

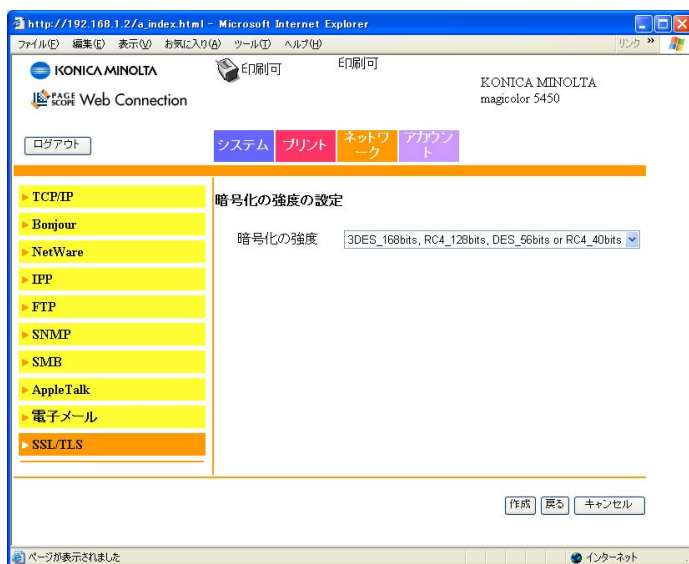
証明書の要求

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の要求画面では、認証局に提出する、証明書発行要求用のデータを表示します。

項目	説明
証明書の要求	認証機関に提出するためのデータを表示します。このデータは証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）と呼ばれ、ユーザから認証機関に提出されることになります。
［保存］ボタン	クリックすると、証明書発行要求用データを、名前を付けて保存します。
［OK］ボタン	クリックすると、ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書のインストール

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書のインストール画面では、認証局から発行された証明書をインストールできます。

項目	説明
証明書のインストール	署名済みの証明書署名要求（CSR、Certificate Signing Request）をこのテキストエリアに貼り付けます。
［次へ］ボタン	クリックすると、ネットワーク — SSL/TLS — 暗号化の強度の設定画面を表示します。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 設定画面を表示します。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、入力されたデータを無効にして、ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

暗号化強度の設定

ネットワーク — SSL/TLS — 暗号化強度の設定画面では、暗号化の強度を設定できます。

項目	説明
暗号化の強度	暗号の強度を選択します。 設定値： – 3DES_168bits, RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits – DES_56bits or RC4_40bits 初期値：3DES_168bits,RC4_128bits, DES_56bits or RC4_40bits
［作成］ボタン	クリックすると、暗号化の強度を設定します。ネットワーク — SSL/TLS — 証明書のインストール画面から移動してきた場合には、証明書をインストールします。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 情報画面を表示します。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、直前の画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

証明書の破棄

ネットワーク — SSL/TLS — 証明書の破棄画面では、インストールされている証明書を削除できます。

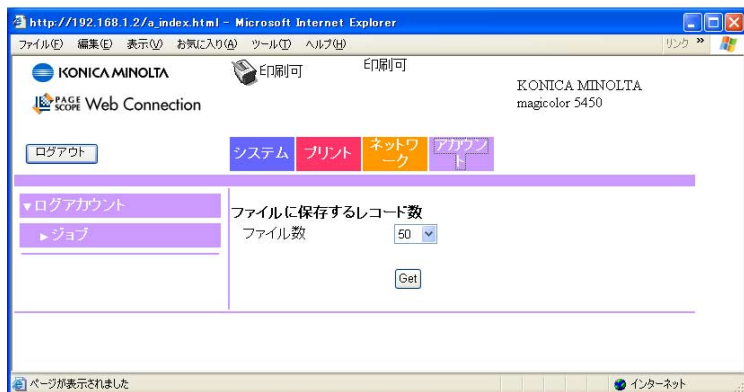
項目	説明
［OK］ボタン	クリックすると、確認画面を表示します。確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

SSL/TLS で通信するモード

ネットワーク — SSL/TLS — SSL/TLS で通信するモード画面では、SSL で通信するモードを設定できます。

項目	説明
SSL/TLS で通信するモード	SSL で通信するモードを選択します。 設定値：無効、有効 初期値：無効
［OK］ボタン	クリックすると、確認画面を表示します。確認画面で［OK］ボタンをクリックすると、証明書が削除されます。
［戻る］ボタン	クリックすると、ネットワーク／ SSL/TLS ／ SSL/TLS 設定画面に戻ります。
［キャンセル］ボタン	クリックすると、ネットワーク／ SSL/TLS ／ SSL/TLS 情報画面に戻ります。
［ログアウト］ボタン	管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

アカウント画面

プリンタにオプションのハードディスクが装着されている場合、アカウント画面では、プリンタのアカウント情報を設定できます。

ジョブ画面（上記画面）

ログアカウント — ジョブ画面では、プリンタ内部のジョブ情報をファイルとして保存できます。

項目		説明
ファイルに保存するレコード数	ファイル数	ファイルとして取得するジョブの数を選択します。 設定値：10、50、100、250、500、All 初期値：10
[Get] ボタン		クリックすると、ジョブ情報ファイルの保存先を指定するダイアログボックスを表示します。
[ログアウト] ボタン		管理者モードからログアウトして、ユーザモードに戻ります。

索引

A

B

C

D

F

H

I

S

T

W

あ

い

お

か

き

く

け

さ

し

す

せ

て

と

ね